

入学試験問題 参考解答集 2023



- 06 2024年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧(予定)
- 08 2023年度入学試験結果データ
- 17 総合型選抜入学試験 [専願体験型]
- 27 実技
 - 28 小論文
 - 35 デッサン
 - 42 水彩画
 - 49 油彩画
- 57 教科科目
 - 58 英語
 - 66 国語
 - 79 数学
- 82 教科科目解答

入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

東北芸術工科大学は、「藝術立国」という理念のもと、“人と自然を思いやる想像力と、社会を変革する創造力を身につけ、自らの意思で未来を切り開くことができる人材の育成”を教育目標としています。芸術学部及びデザイン工学部の入学選抜では、それぞれの専門領域に即して多面的・総合的に評価するために、次の観点から入学希望者を募集します。

- ①芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
- ②高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
- ③社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人

芸術学部

芸術は、美を求める純粋な心と知に基づくものであり、人々に夢や希望を与え、新たな価値を生み出す力があります。多様性を学び取る柔軟な姿勢と、自らの創造力や感性を粘り強く磨き続ける意志を身につけ、芸術の力を社会の真の豊かさに向けて活かそうとする入学希望者を求めます。

■文化財保存修復学科

文化財保存修復学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・文化財を守り伝えるための知識と技術の習得のために努力し続けることのできる人
- ・美術や歴史、そして文化の継承に興味・関心のある人
- ・探究心をもって新しいことに挑戦できる人

■歴史遺産学科

歴史遺産学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・歴史遺産や地域研究に興味を持ち、自ら問いを立てて、粘り強く取り組める人
- ・調査研究やその発信のための技法習得に意欲的な人
- ・歴史や民俗などの観点から、人びとの日常や考え方を探求したいと考える人

■美術科 日本画コース

美術科日本画コースは、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・写生を通して画力と表現力を積み重ね、今日の日本画を探求し続けることのできる人
- ・日本画と美術について興味と意欲を持ち続けながら、社会と関わることのできる人
- ・知識と経験を深め、将来、美術を通して広く国内外で活躍したいと考える人

■美術科 洋画コース

美術科洋画コースは、次のような姿勢・資質を備えた入学者を求めます。

- ・絵画制作を通して、自己表現に意欲的に取り組める人
- ・社会問題に興味・関心を持ち、洋画の学修を通じて他者と協働し、社会の課題に取り組める人
- ・変化を楽しみ、柔軟性を持ち、多様なメディアを通して常に自身を磨き続けられる人

■美術科 版画コース

美術科版画コースは、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・プリントやグラフィックに興味を持ち、熱意を持ってもの作りと向き合える人
- ・版画の学びを通して、多くの人に発信・共有し、表現力を社会に活かしたい人
- ・制作活動のなかで多様性を受け入れ、他者と協働しながら取り組める人

■美術科 彫刻コース

美術科彫刻コースは、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・ものを作ることが好きで、自己表現に向けて粘り強く努力できる人
- ・自然や素材、ものの成り立ちに関心があり、造形を通して探求したい人
- ・他者とのコミュニケーションや協働を通じて、造形に対する新たな考えや表現を吸収したい人

■美術科 総合美術コース

美術科総合美術コースは、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・制作プロセスを含めて、美術を広く社会で応用することやそれを教えることに興味があり、その知識を深めたい人
- ・美術を活用したコミュニケーションスキルを身につけ、より多くの人たちと美術を楽しみたいと考える人
- ・ものづくりを通して美術が人間の心身や社会に与える力に関心のある人

■工芸デザイン学科

工芸デザイン学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・生活に寄り添うモノやコトに興味があり、それを探求し続ける熱意のある人
- ・素材や、技術を生かした製品、作品の制作に興味・関心のある人
- ・モノの機能や成り立ちについて知識を深めたい人

■文芸学科

文芸学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・物語を考え、自ら生み出す努力を続けられる人
- ・マンガ、ライトノベル、アニメ、ゲームなど、メディアを問わず多様な物語の形態に興味・関心を持つ人
- ・雑誌・単行本を含んだ多様なモノを制作することに興味・関心がある人

デザイン工学部

デザインとは、見た目を装飾するだけでなく、今や「デザイン思考」として、人間社会の改善や進化に必要な不可欠な技術となっています。自己表現や趣味にとどまらず、広く社会をイメージし、何のためにデザインを活用すべきなのか、モノやコトに対するデザインを学び、社会に積極参加しようとする入学希望者を求めます。

■プロダクトデザイン学科

プロダクトデザイン学科は、次のような能力や態度、資質を備えた入学者を求めます。

- ・製品をデザインし、その内容を他者に伝えるための技術を向上させる努力を継続できる人
- ・社会が抱える課題とそれらに関わる製品に対して興味・関心のある人
- ・製品のデザインにおいて、他者の意見を傾聴でき、協働することができる人

■建築・環境デザイン学科

建築・環境デザイン学科は、次のような能力や資質を備えた入学者を求めます。

- ・社会や自然環境を注意深く観察し、課題解決にむけて努力し続けることのできる人
- ・リノベーションやまちづくり、ランドスケープ、環境問題に興味・関心があり、地域の課題に取り組みたい人
- ・造形すること、描くこと、作ること、調べることが好きで、それを建築や環境デザインに応用したい人

■グラフィックデザイン学科

グラフィックデザイン学科は、次のような能力や姿勢、資質を備えた入学者を求めます。

- ・情報の視覚伝達に興味と熱意を持ち、人との関わりに積極的で、社会に目を向けられる人
- ・常に好奇心を持ち、既成概念にとらわれず制作活動に向き合うことができる人
- ・グラフィックデザインを学ぶことに意欲的であり、主体的に努力を続けることができる人

■映像学科

映像学科は、次のような能力や態度、資質を備えた入学者を求めます。

- ・映像表現の多様性とその技術の進化に興味があり、それらを習得する努力ができる人
- ・社会や地域の魅力と課題に関心があり、それらを映像で表現、発信していく意欲のある人
- ・自身の役割を理解し、グループで映像制作や研究を行うことができる人

■企画構想学科

企画構想学科は、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。

- ・「プロジェクトの企画と実践」に向けて努力し続けることのできる人
- ・「企画書の作成」「チームによる活動」に興味・関心のある人
- ・自主性を重視した教育環境で独創的な発想と論理的な思考ができる人

■コミュニティデザイン学科

コミュニティデザイン学科は、次のような能力や態度、資質を備えた入学者を求めます。

- ・持続可能な社会や地域づくりに興味があり、実践したいと考える人
- ・地域の生活者の目線で社会的課題を捉え、その探究・解決に取り組みたい人
- ・地域のために、他者との協働に向けたコミュニケーション手法を学ぶ意欲がある人

2024年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧(予定)

	総合型選抜入試[専願体験型]		総合型選抜入試[併願型]	
出願登録期間	2023年9月13日(水)～26日(火)	募集 人員	2023年11月13日(月) ～24日(金)	募集 人員
試験日	10月7日(土)・10月8日(日)・10月9日(祝・月) ^{*1} ※学科・コースにより実施日が異なります。		12月10日(日)	
合格発表	11月1日(水)		12月20日(水)	
入学手続締切(第一次) ※入学金納付期限	11月15日(水)		2024年1月10日(水)	
入学手続締切(第二次) ※授業料等納付期限	12月15日(金)		2024年2月16日(金) ※申請により3/25まで延納が可能	
試験会場	山形		山形／東京	
美術科 日本画コース	①体験授業(日本画の風景画制作)(300分程度) 決められたエリア内(屋内)で、各自水彩で風景画を制作する ②上記体験を通して感じたこと、考えたことを文章化し、振り返りシートを提出する ③面接 1グループ2～3人で行う	58	面接・書類審査※3 + 次から1科目: 「水彩画」※5 「油彩画」※6 「デッサン」	29
美術科 洋画コース	①体験授業(静物油彩)(300分程度) 油彩制作におけるポイントレクチャーを行う。その後グループごとにモチーフを組み、油彩制作を行う ②面接 1グループ2～3人で行う			
美術科 版画コース	①体験授業(イラストレーション制作 or 自画像デッサン制作)(240分程度) 当日にイラストレーション、自画像デッサンのいずれかを選択し、事前レクチャーを行った後に制作を行う ②ミニ講評会 体験授業終了後、ミニ講評会を行い、また、体験授業を通して気付いたことや考えたことをミニレポートとして書く ③面接 個別面接			
美術科 彫刻コース	①体験授業(彫刻制作の体験)(360分間程度) 大学周辺を散策し、収集した自然物やスケッチをもとに各自が自由な発想で粘土を使って立体作品を制作する ②振り返り 制作物の意図や感想を発表する ③面接 個別面接			
美術科 総合美術コース	①体験授業(アートワークショップ体験)(240分程度) アートワークショップを体験し気づきや活動のねらいなどをまとめ、それを活用したワークショップイベント企画を考えて発表する ②面接 個別面接			
工芸デザイン学科	①体験授業(立体制作、平面制作 各120分程度) 立体・平面制作の基礎を学ぶ。立体制作では紙造形を基本とし、工程ごとに学び、条件に沿って制作する 平面制作では配色デザインを行い、デザイン完成後は一人ずつテーマと工夫した点を発表する ②面接 個別面接	21		11
文芸学科	①体験授業(150分程度)※2 教員による説明を経て、グループ単位で昔話をリライト(書き換え)する体験授業を実施し、その内容を発表する ②作文 ①で行ったグループワークについて執筆する(600字程度) ③面接 個別面接	22		7
文化財保存修復学科	①体験授業(講義30分程度、レポート作成60分程度) 文化財保存修復に関するミニ講義を受講した後、ミニレポートを提出する ②面接 個別面接	13	面接・書類審査※3 + 次から1科目: 「小論文」 「デッサン」 「水彩画」※5 「油彩画」※6 「国語」 「数学」 「英語」	3
歴史遺産学科	①体験授業(講義30分程度、レポート作成60分程度) 歴史遺産に関するミニ講義を受講した後、ミニレポートを提出する ②面接 個別面接	13		6
プロダクト デザイン学科	①体験授業(120分程度)※2 身の回りのモノの機能や形態を観察し、その理由を考える。前半のグループワークではそれらの優れた点や改善すべき点を共有し、後半の個人ワークでは対象となるモノの応用展開例を提案する ②面接 個別面接	32		13
建築・環境 デザイン学科	①体験授業(レポート作成を含めて40分程度) 建築、まち、自然や環境問題に関するミニ講義を行い、講義に対する自身の意見をミニレポートにまとめる ②面接 個別面接	20		14
グラフィック デザイン学科	①体験授業(110分程度) デザインに関する模擬授業を受講した後、その授業の内容について発表する ②面接 個別面接	40		17
映像学科	①体験授業(90分程度) 1つのキーワードから独自の映像作品をイメージし、その世界観をアイデアスケッチと文章(600字以内)で表現する ②面接 個別面接	32		14
企画構想学科	①体験授業(140分程度)※2 ・ミニ講義 課題解決型ワークショップの進め方に関する講義を受講する ・課題解決型ワークショップ 提示された課題に対して、グループに分かれて企画を考え発表する ・振り返りシート ミニ講義とワークショップを振り返り、整理した内容を記入する ②面接 個別面接	26		10
コミュニティ デザイン学科	①体験授業(講義20分程度、アイデア会議100分程度、レポート45分程度)※2 ・講義 課題解決型ワークショップについて学ぶ ・アイデア会議 講義で提示された地域の社会課題を解決し、SDGsに寄与する社会を実現するモノ・コトをグループで話し合い、発表する ・振り返り 自身の気づきや考えについてレポートを作成する ②面接 個別面接	16		6

※1 総合型選抜入試[専願体験型]は第二志望まで出願可能です。なお第二志望まで出願した場合、出願した学科・コースそれぞれで試験が実施されるため2日間を要します。詳細は「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」をご覧ください。

※2 受験者数が少ない場合は、別の試験方法となる場合があります。詳細は「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」をご覧ください。

※3 「書類審査」とは、「高等学校調査書」及び「出願書類」による総合評価です。 ※4 募集人員は、一般選抜入試(前期)、大学入学共通テスト利用入試(1科目利用)及び(2科目利用前期)を合算したものです。

※下記の内容は、2023年4月1日現在の予定です。詳細は、別途発行の「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」で必ず確認してください。

一般選抜入試 【前期】	大学入学共通テスト利用入試 【1科目利用】	大学入学共通テスト利用入試 【2科目利用 前期】	一般選抜入試【専願型】	一般選抜入試 【面接型】	一般選抜入試 【後期】	大学入学共通テスト利用入試 【2科目利用 後期】		
2024年1月4日(木)～19日(金)	2024年1月4日(木)～22日(月)	2024年1月4日(木)～22日(月)	2024年1月4日(木)～12日(金)	2024年2月16日(金)～22日(木)	2024年2月16日(金)～3月1日(金)			
1月31日(水)	個別試験なし		1月31日(水)	3月14日(木) 接続テスト3/4または3/5 ※9	3月14日(木)	個別試験なし		
2月15日(木)		募集人員 ※4	2月15日(木)	3月21日(木)			募集人員	
2月29日(木)			2月29日(木)	3月25日(月)				
3月7日(木) ※申請により3/25まで延納が可能			3月7日(木)					
山形／東京／札幌／仙台	—		山形	オンライン	山形／東京	—		
次から1科目： 「国語」 「数学」 「英語」 + 次から1科目： 「水彩画」※5 「油彩画」※6	大学入学共通テストの 成績上位1科目 + 次から1科目： 「水彩画」※5 「油彩画」※6	—	面接・書類審査 ※3 + 「水彩画」※7 「油彩画」※8	—	次から1科目： 「水彩画」※5 「油彩画」※6	—		
①・②のいずれか	大学入学共通テストの 成績上位1科目 + 次から1科目： 「小論文」 「デッサン」 「水彩画」※5 「油彩画」※6	大学入学共通テスト の成績上位2科目	30	7	面接(オンライン) ・書類審査 ※3	次から1科目： 「小論文」 「デッサン」 「水彩画」※5 「油彩画」※6	大学入学共通テストの 成績上位2科目	
			11	①・②・③のい ずれか				2
			11	①面接・書類審査 ※3 + 次から1科目： 「小論文」 「デッサン」 「水彩画」※7 「油彩画」※8				2
			8					2
			11	②面接・書類審査 ※3 + 次から1科目： 「国語」 「数学」 「英語」				2
			15					2
			14	③面接・書類審査 ※3 + 大学入学共通テ ストの 成績上位1科目				2
			9					2
			14					2
			12					2
6		2						

※5 水彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず日本画コースを志望してください。 ※6 油彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず洋画コースを志望してください。
 ※7 一般選抜入試【専願型】で水彩画を選択する場合は第一志望または第二志望で必ず日本画コースを志望してください。
 ※8 一般選抜入試【専願型】で油彩画を選択する場合は第一志望または第二志望で必ず洋画コースを志望してください。
 ※9 一般選抜入試【面接型】はオンラインで実施するため、試験日の前にインターネットの通信接続環境の確認およびZoomの動作確認のための「接続テスト」を行います。実施日については出願後メールにてお知らせします。

2023年度 入学試験結果データ

総合型選抜入学試験[専願体験型]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	127	246	246	156	156	1.6
文化財保存修復学科	13	21	21	17	17	1.2
歴史遺産学科	13	10	10	10	10	1.0
美術科	58	144	144	78	78	1.8
日本画コース		27	27	21	21	1.3
洋画コース		66	66	28	28	2.4
版画コース		16	16	8	8	2.0
彫刻コース		16	16	8	8	2.0
総合美術コース		19	19	13	13	1.5
工芸デザイン学科	21	40	40	26	26	1.5
文芸学科	22	31	31	25	25	1.2
デザイン工学部	166	335	335	177	176	1.9
プロダクトデザイン学科	32	49	49	36	36	1.4
建築・環境デザイン学科	20	27	27	22	22	1.2
グラフィックデザイン学科	40	104	104	40	40	2.6
映像学科	32	97	97	38	37	2.6
企画構想学科	26	46	46	30	30	1.5
コミュニティデザイン学科	16	12	12	11	11	1.1
全学計	293	581	581	333	332	1.7

総合型選抜入学試験[併願型]、学校推薦型選抜入試[指定校]、学校推薦型選抜入試[韓国]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	56	324	303	75	61	4.0
文化財保存修復学科	3	28	25	5	5	5.0
歴史遺産学科	6	10	8	4	4	2.0
美術科	29	217	204	40	29	5.1
日本画コース		37	33	14	7	2.4
洋画コース		72	66	13	10	5.1
版画コース		36	36	4	3	9.0
彫刻コース		22	22	4	4	5.5
総合美術コース		50	47	5	5	9.4
工芸デザイン学科	11	38	37	15	13	2.5
文芸学科	7	31	29	11	10	2.6
デザイン工学部	74	410	388	122	104	3.2
プロダクトデザイン学科	13	68	67	20	15	3.4
建築・環境デザイン学科	14	32	31	22	19	1.4
グラフィックデザイン学科	17	113	106	28	23	3.8
映像学科	14	84	80	20	18	4.0
企画構想学科	10	74	67	16	15	4.2
コミュニティデザイン学科	6	39	37	16	14	2.3
全学計	130	734	691	197	165	3.5

一般選抜入学試験[前期]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	71	210	209	46	22	4.5
文化財保存修復学科	8	20	20	4	2	5.0
歴史遺産学科	11	19	19	11	5	1.7
美術科	30	127	126	25	13	5.0
日本画コース		23	22	17	6	1.3
洋画コース		39	39	5	4	7.8
版画コース		24	24	0	0	-
彫刻コース		13	13	2	2	6.5
総合美術コース		28	28	1	1	28.0
工芸デザイン学科	11	26	26	4	2	6.5
文芸学科	11	18	18	2	0	9.0
デザイン工学部	70	293	293	36	7	8.1
プロダクトデザイン学科	15	58	58	10	2	5.8
建築・環境デザイン学科	14	28	28	11	3	2.5
グラフィックデザイン学科	9	73	73	2	0	36.5
映像学科	14	69	69	5	0	13.8
企画構想学科	12	37	37	2	0	18.5
コミュニティデザイン学科	6	28	28	6	2	4.7
全学計	141	503	502	82	29	6.1

※外国人留学生特別選抜入試・シニア特別選抜入試・社会人特別選抜入試を含む。

※募集人員は一般選抜(前期)、共通テスト利用入試(1科目利用・2科目利用前期)を合算した募集人員。

一般選抜入学試験[専願型]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	15	44	44	14	14	3.1
文化財保存修復学科	2	5	5	1	1	5.0
歴史遺産学科	2	5	5	3	3	1.7
美術科	7	23	23	6	6	3.8
日本画コース		2	2	1	1	2.0
洋画コース		10	10	2	2	5.0
版画コース		3	3	1	1	3.0
彫刻コース		1	1	0	0	-
総合美術コース		7	7	2	2	3.5
工芸デザイン学科	2	8	8	2	2	4.0
文芸学科	2	3	3	2	2	1.5
デザイン工学部	12	31	28	13	12	2.2
プロダクトデザイン学科	2	6	6	3	3	2.0
建築・環境デザイン学科	2	2	2	2	2	1.0
グラフィックデザイン学科	2	6	5	2	2	2.5
映像学科	2	8	6	2	1	3.0
企画構想学科	2	7	7	2	2	3.5
コミュニティデザイン学科	2	2	2	2	2	1.0
全学計	27	75	72	27	26	2.7

大学入学共通テスト利用入学試験 [1科目利用]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	71	168	163	35	10	4.7
文化財保存修復学科	8	13	12	3	0	4.0
歴史遺産学科	11	7	7	4	3	1.8
美術科	30	107	104	22	4	4.7
日本画コース		24	22	16	4	1.4
洋画コース		35	35	4	0	8.8
版画コース		19	19	0	0	-
彫刻コース		9	9	1	0	9.0
総合美術コース		20	19	1	0	19.0
工芸デザイン学科	11	25	24	4	1	6.0
文芸学科	11	16	16	2	2	8.0
デザイン工学部	70	169	167	32	8	5.2
プロダクトデザイン学科	15	36	36	14	3	2.6
建築・環境デザイン学科	14	11	11	5	1	2.2
グラフィックデザイン学科	9	54	53	2	0	26.5
映像学科	14	37	36	5	1	7.2
企画構想学科	12	18	18	1	1	18.0
コミュニティデザイン学科	6	13	13	5	2	2.6
全学計	141	337	330	67	18	4.9

※募集人員は一般選抜(前期)、共通テスト利用入試(1科目利用・2科目利用前期)を合算した募集人員。

大学入学共通テスト利用入学試験 [2科目利用前期]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	71	160	160	35	4	4.6
文化財保存修復学科	8	27	27	2	0	13.5
歴史遺産学科	11	41	41	24	4	1.7
美術科	30	40	40	3	0	13.3
版画コース		11	11	1	0	11.0
彫刻コース		9	9	1	0	9.0
総合美術コース		20	20	1	0	20.0
工芸デザイン学科	11	28	28	3	0	9.3
文芸学科	11	24	24	3	0	8.0
デザイン工学部	70	299	299	27	3	11.1
プロダクトデザイン学科	15	66	66	6	1	11.0
建築・環境デザイン学科	14	39	39	9	0	4.3
グラフィックデザイン学科	9	73	73	4	2	18.3
映像学科	14	66	66	2	0	33.0
企画構想学科	12	26	26	2	0	13.0
コミュニティデザイン学科	6	29	29	4	0	7.3
全学計	141	459	459	62	7	7.4

※募集人員は一般選抜(前期)、共通テスト利用入試(1科目利用・2科目利用前期)を合算した募集人員。

一般選抜入学試験〔後期〕

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	若干名	83	78	24	13	3.3
文化財保存修復学科		5	5	1	0	5.0
歴史遺産学科		4	4	3	3	1.3
美術科		54	50	12	6	4.2
日本画コース		13	13	5	2	2.6
洋画コース		18	17	2	2	8.5
版画コース		10	10	2	1	5.0
彫刻コース		3	3	2	0	1.5
総合美術コース		10	9	1	1	9.0
工芸デザイン学科		14	11	4	2	2.8
文芸学科		6	6	4	2	1.5
デザイン工学部		54	52	11	9	4.7
プロダクトデザイン学科		7	6	2	1	3.0
建築・環境デザイン学科		4	4	2	2	2.0
グラフィックデザイン学科		13	12	2	2	6.0
映像学科		16	16	3	3	5.3
企画構想学科		8	8	0	0	-
コミュニティデザイン学科		6	6	2	1	3.0
全学計		137	130	35	22	3.7

※募集人員は一般選抜(後期・面接型)、共通テスト利用入試(2科目利用後期)を合算した募集人員。

一般選抜入学試験〔面接型〕

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	若干名	4	4	0	0	-
文化財保存修復学科		0	0	0	0	-
歴史遺産学科		1	1	0	0	-
美術科		1	1	0	0	-
日本画コース		0	0	0	0	-
洋画コース		0	0	0	0	-
版画コース		1	1	0	0	-
彫刻コース		0	0	0	0	-
総合美術コース		0	0	0	0	-
工芸デザイン学科		1	1	0	0	-
文芸学科		1	1	0	0	-
デザイン工学部		15	15	6	4	2.5
プロダクトデザイン学科		2	2	2	2	1.0
建築・環境デザイン学科		1	1	0	0	-
グラフィックデザイン学科		4	4	0	0	-
映像学科		3	3	1	0	3.0
企画構想学科		4	4	2	1	2.0
コミュニティデザイン学科		1	1	1	1	1.0
全学計		19	19	6	4	3.2

※募集人員は一般選抜(後期・面接型)、共通テスト利用入試(2科目利用後期)を合算した募集人員。

大学入学共通テスト利用入学試験[2科目利用後期]

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	若干名	29	29	7	1	4.1
文化財保存修復学科		6	6	1	0	6.0
歴史遺産学科		4	4	2	0	2.0
美術科		5	5	0	0	-
版画コース		1	1	0	0	-
彫刻コース		1	1	0	0	-
総合美術コース		3	3	0	0	-
工芸デザイン学科		9	9	2	0	4.5
文芸学科		5	5	2	1	2.5
デザイン工学部		34	34	11	2	3.1
プロダクトデザイン学科		3	3	2	0	1.5
建築・環境デザイン学科		4	4	1	0	4.0
グラフィックデザイン学科		10	10	2	0	5.0
映像学科		10	10	3	1	3.3
企画構想学科		4	4	2	1	2.0
コミュニティデザイン学科		3	3	1	0	3.0
全学計		63	63	18	3	3.5

※募集人員は一般選抜(後期・面接型)、共通テスト利用入試(2科目利用後期)を合算した募集人員。

全試験区分の総計

学部・学科・コース	募集人員	志願者数	受験者数 (a)	合格者数 (b)	入学者数	受験倍率 (a)/(b)
芸術学部	269	1,268	1,236	392	281	3.2
文化財保存修復学科	26	125	121	34	25	3.6
歴史遺産学科	32	101	99	61	32	1.6
美術科	124	718	699	186	136	3.8
日本画コース		126	119	74	41	1.6
洋画コース		240	233	54	46	4.3
版画コース		121	121	16	13	7.6
彫刻コース		74	74	18	14	4.1
総合美術コース		157	152	24	22	6.3
工芸デザイン学科	45	189	184	60	46	3.1
文芸学科	42	135	133	51	42	2.6
デザイン工学部	324	1,640	1,611	435	325	3.7
プロダクトデザイン学科	62	295	293	95	63	3.1
建築・環境デザイン学科	52	148	147	74	49	2.0
グラフィックデザイン学科	68	450	440	82	69	5.4
映像学科	62	390	383	79	61	4.8
企画構想学科	50	224	217	57	50	3.8
コミュニティデザイン学科	30	133	131	48	33	2.7
全学計	593	2,908	2,847	827	606	3.4

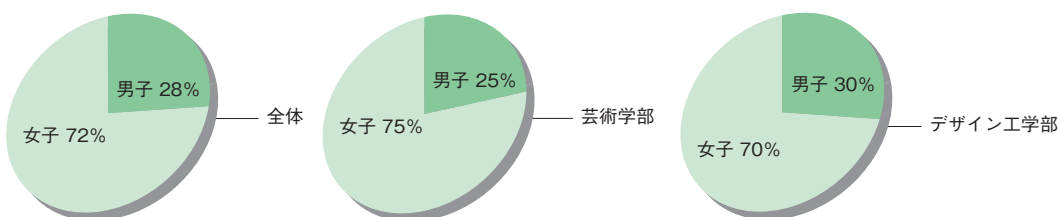
男女別結果(全試験区分の総計)

学部・学科	志願者			受験者			合格者			入学者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
芸術学部	398	870	1,268	380	856	1,236	100	292	392	71	210	281
文化財保存修復学科	19	106	125	17	104	121	3	31	34	2	23	25
歴史遺産学科	42	59	101	41	58	99	28	33	61	13	19	32
美術科	221	497	718	209	490	699	35	151	186	29	107	136
工芸デザイン学科	51	138	189	50	134	184	8	52	60	5	41	46
文芸学科	65	70	135	63	70	133	26	25	51	22	20	42
デザイン工学部	626	1,014	1,640	610	1,001	1,611	132	303	435	97	228	325
プロダクトデザイン学科	117	178	295	116	177	293	34	61	95	26	37	63
建築・環境デザイン学科	69	79	148	68	79	147	31	43	74	20	29	49
グラフィックデザイン学科	154	296	450	149	291	440	19	63	82	15	54	69
映像学科	186	204	390	180	203	383	27	52	79	22	39	61
企画構想学科	63	161	224	60	157	217	10	47	57	7	43	50
コミュニティデザイン学科	37	96	133	37	94	131	11	37	48	7	26	33
計	1,024	1,884	2,908	990	1,857	2,847	232	595	827	168	438	606

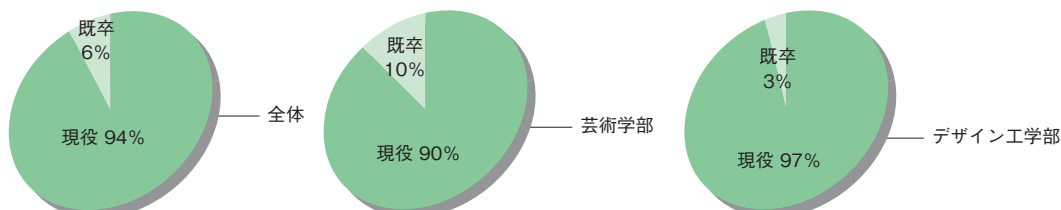
現役既卒別結果(全試験区分の総計)

学部・学科	志願者			受験者			合格者			入学者		
	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計
芸術学部	1,058	210	1,268	1,039	197	1,236	329	63	392	252	29	281
文化財保存修復学科	93	32	125	91	30	121	24	10	34	21	4	25
歴史遺産学科	90	11	101	89	10	99	59	2	61	30	2	32
美術科	599	119	718	587	112	699	146	40	186	119	17	136
工芸デザイン学科	152	37	189	149	35	184	54	6	60	43	3	46
文芸学科	124	11	135	123	10	133	46	5	51	39	3	42
デザイン工学部	1,489	151	1,640	1,465	146	1,611	407	28	435	315	10	325
プロダクトデザイン学科	261	34	295	260	33	293	87	8	95	61	2	63
建築・環境デザイン学科	132	16	148	131	16	147	69	5	74	48	1	49
グラフィックデザイン学科	407	43	450	399	41	440	76	6	82	66	3	69
映像学科	349	41	390	344	39	383	73	6	79	58	3	61
企画構想学科	209	15	224	202	15	217	55	2	57	49	1	50
コミュニティデザイン学科	131	2	133	129	2	131	47	1	48	33	0	33
計	2,547	361	2,908	2,504	343	2,847	736	91	827	567	39	606

入学者構成比
(男女別)



入学者構成比
(現役・既卒別)



都道府県別結果(全試験区分の総計)

地方	都道府県名	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
北海道	北海道	104	104	29	22
東北	青森県	86	83	27	20
	岩手県	193	193	47	33
	宮城県	651	639	185	157
	秋田県	78	78	21	17
	山形県	543	535	175	143
	福島県	199	196	67	56
	東北計	1,750	1,724	522	426
関東	茨城県	119	117	34	22
	栃木県	71	68	23	13
	群馬県	90	90	17	8
	埼玉県	48	48	21	13
	千葉県	43	39	8	7
	東京都	64	64	19	10
	神奈川県	62	61	7	4
	関東計	497	487	129	77
中部	新潟県	212	203	49	24
	富山県	15	15	2	0
	石川県	14	14	3	3
	福井県	2	2	1	0
	山梨県	13	13	5	3
	長野県	60	55	18	12
	岐阜県	12	12	5	1
	静岡県	60	59	11	8
	愛知県	18	15	8	2
	三重県	7	7	3	1
	中部計	413	395	105	54

地方	都道府県名	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
近畿	滋賀県	0	0	0	0
	京都府	0	0	0	0
	大阪府	5	2	2	1
	兵庫県	8	8	3	2
	奈良県	7	7	1	1
	和歌山県	0	0	0	0
	近畿計	20	17	6	4
中国	鳥取県	10	10	4	0
	島根県	1	1	1	1
	岡山県	15	15	2	2
	広島県	3	3	1	0
	山口県	0	0	0	0
	中国計	29	29	8	3
四国	徳島県	0	0	0	0
	香川県	10	10	3	2
	愛媛県	7	7	0	0
	高知県	3	3	1	0
四国計	20	20	4	2	
九州	福岡県	1	1	0	0
	佐賀県	1	1	1	1
	長崎県	5	2	2	2
	熊本県	0	0	0	0
	大分県	0	0	0	0
	宮崎県	1	1	1	1
	鹿児島県	13	13	2	1
	沖縄県	31	30	8	7
	九州計	52	48	14	12
	検定		18	18	5
海外		4	4	4	2
専修学校		1	1	1	1
合計		2,908	2,847	827	606

入学者構成比(都道府県別)

北海道 22名 3.6%

東北 426名 70.3%

中部 54名 8.9%

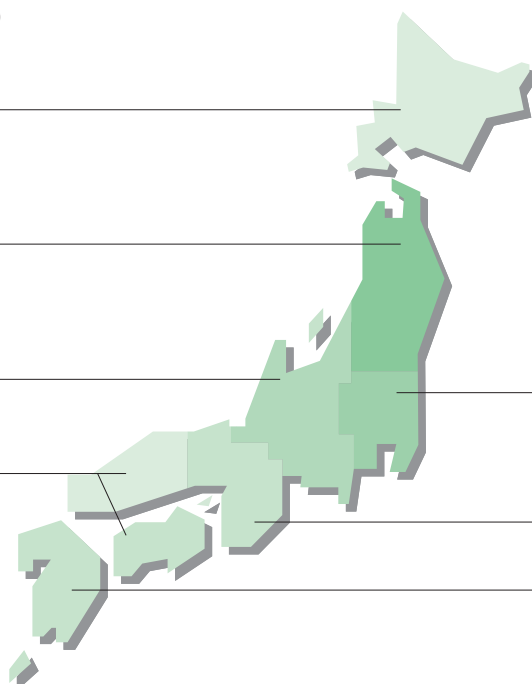
中国・四国 5名 0.8%

検定等 4名 0.7%
海外 2名 0.3%

関東 77名 12.7%

近畿 4名 0.7%

九州 12名 2.0%



志願者出身高校一覧(全試験区分)

北海道

札幌月寒、札幌北陵、札幌手稲、札幌白石、札幌旭丘、札幌藻岩、函館中部、小樽潮陵、小樽桜陽、岩見沢西、枝幸、室蘭栄、帯広南商業、釧路湖陵、北広島、札幌東陵、札幌平岸、石狩南、旭川永嶺、札幌稲雲、紋別、登別明日、札幌大谷、函館大学付属有斗、旭川実業、駒澤大学附属苫小牧、クラーク記念国際、北海道芸術

青森県

青森、青森西、青森東、青森南、青森中央、弘前中央、八戸、八戸北、木造、三本木、三沢、田名部、青森工業、十和田工業、むつ工業、八戸中央、東奥学園、八戸聖ウルスラ学院、八戸学院光星、弘前東、五所川原第一、八戸工業大学第二

岩手県

盛岡第一、盛岡第二、盛岡第三、盛岡第四、盛岡北、杜陵、盛岡商業、花巻北、花巻南、黒沢尻北、水沢、水沢工業、一関第一、一関第二、大東、大船渡、遠野、遠野緑峰、宮古、久慈、伊保内、福岡、盛岡市立、不来方、釜石、宮古商工、岩手、盛岡白百合学園、盛岡スコーレ、盛岡中央、専修大学北上

宮城県

仙台第一、仙台第二、仙台向山、古川、角田、築館、白石、石巻、塩釜、泉、多賀城、岩ヶ崎、宮城第一、仙台二華、仙台三桜、石巻好文館、古川黎明、登米、岩出山、農業、工業、古川工業、石巻工業、仙台南、仙台、仙台工業、名取北、泉松陵、仙台西、泉館山、宮城広瀬、利府、仙台東、富谷、宮城野、仙台青陵、気仙沼、仙台育英学園、東北、東北学院、東北学院榴ヶ岡、宮城学院、尚綱学院、聖和学園、東北生活文化大学、仙台大学附属明成、聖ウルスラ学院英智、聖ドミニコ学院、仙台城南、古川学園、西山学院

秋田県

秋田、秋田南、花輪、能代、由利、角館、横手、横手城南、増田、湯沢、新屋、横手清陵学院、湯沢翔北、大館桂桜、ノースアジア大学明桜、聖霊女子短期大学付属、秋田令和

山形県

山形東、山形南、山形西、山形北、山形工業、山形中央、山形市立商業、天童、山辺、寒河江、寒河江工業、谷地、東桜学館、新庄北、新庄南、米沢興譲館、米沢東、米沢工業、米沢商業、高島、長井、長井工業、鶴岡南、鶴岡北、鶴岡工業、酒田東、酒田西、北村山、南陽、上山明新館、霞城学園、鶴岡中央、新庄神室産業、酒田光陵、村山産業、東北文教大学山形城北、山形学院、日本大学山形、惺山、東海大学山形、新庄東、九里学園、米沢中央、羽黒、和順館、酒田南

福島県

福島(県立)、橘、福島西、福島商業、福島北、安達、安積、安積黎明、郡山東、須賀川創英館、会津、葵、会津学鳳、会津工業、南会津、磐城、磐城桜が丘、平工業、いわき総合、いわき湯本、小名浜海星、相馬、原町、あさか開成、福島東、いわき光洋、光南、郡山萌世、ふたば未来学園、福島(私立)、福島成蹊、桜の聖母学院、郡山女子大学附属、帝京安積、尚志、日本大学東北、東日本国際大学附属昌平、会津若松ザベリオ学園、いわき秀英

茨城県

日立第一、水戸第二、水戸第三、水戸工業、鹿島、筑波、竜ヶ崎第一、藤代、下館第一、古河第一、古河第三、日立北、取手松陽、古河、明秀学園日立、茨城キリスト教学園、常磐大学、水城、土浦日本大学、清真学園、江戸川学園取手、茗溪学園、鹿島学園、翔洋学園、第一学院 高萩校、S

栃木県

小山工業高専、宇都宮東、宇都宮女子、小山、栃木女子、佐野、真岡、真岡女子、矢板東、宇都宮北、さくら清修、作新学院、宇都宮文星女子、宇都宮短期大学附属、國學院大學栃木、矢板中央

群馬県

前橋(県立)、前橋南、前橋女子、前橋清陵、渋川女子、尾瀬、前橋(市立)、高崎北、前橋東、高崎経済大学附属、伊勢崎、四ツ葉学園、富岡、桐生、共愛学園、東京農業大学第二、前橋育英、ぐんま国際アカデミー高等部

埼玉県

熊谷女子、春日部女子、深谷第一、戸田翔陽、進修館、伊奈学園総合、大宮光陵、芸術総合、聖望学園、細田学園、城西大学付属川越、浦和学院

千葉県

千葉女子、千葉北、船橋東、我孫子、佐倉東、佐原、佐原白楊、長生、千葉敬愛、二松学舎大学附属柏、暁星国際、市原中央、わせがく、中央国際

東京都

工芸、江東商業、保谷、向丘、青梅総合、総合工科、新宿山吹、九段、総合芸術、南多摩、女子学院、山脇学園、成城、富士見丘、東洋大学京北、駒込、聖学院、恵泉女学園、田園調布雙葉、日本工業大学駒場、女子美術大学付属、淑徳、工学院大学附属、錦城、立志舎

神奈川県

白山、藤沢西、茅ヶ崎北陵、上矢部、相模原弥栄、横浜清風、日本大学、横浜学園、山手学院、カリタス女子、平塚学園、聖園女学院、向上

新潟県

新潟、新潟南、新潟江南、巻、新発田、村上、新津、長岡、長岡大手、長岡工業、見附、三条、三条東、小千谷、柏崎常盤、上越総合技術、新井、佐渡、万代、新潟東、新発田南、長岡向陵、新潟翠江、北越、加茂暁星、新発田中央、新潟第一、東京学館新潟、長岡英智

富山県

魚津、高岡工芸、高岡南

石川県

金沢錦丘、工業（県立）、星稜

福井県

羽水、若狭

山梨県

甲府第一、吉田、駿台甲府、日本航空

長野県

須坂、長野西、長野東、上田染谷丘、野沢北、岡谷南、阿南、飯田OIDE、長姫、松本第一、長野清泉女学院、長野日本大学、東海大学付属諏訪、佐久長聖、エクセラシオン、さくら国際

岐阜県

長良、岐山、多治見、可児

静岡県

伊東、沼津西、静岡、焼津中央、袋井、磐田西、浜松湖南、星陵、浜松学芸

愛知県

向陽、工芸、阿久比、江南、愛知、東邦、愛知工業大学名電

三重県

いなべ総合学園、桜丘

大阪府

北千里、好文学園女子、向陽台

兵庫県

明石、葦合、三田祥雲館、AIE国際

奈良県

飛鳥未来

鳥取県

米子東

島根県

キリスト教愛真

岡山県

鹿島朝日

広島県

近畿大学附属広島（東広島校）

香川県

高松工芸、香川中央

愛媛県

新居浜西、未来

高知県

土佐塾

福岡県

西南学院

佐賀県

唐津東

長崎県

波佐見、長崎日本大学

宮崎県

宮崎日本大学

鹿児島県

ラ・サール、屋久島おおぞら

沖縄県

首里、浦添工業、首里東、沖縄尚学、ヒューマンキャンパス、N

総合型選抜入学試験 [専願体験型]

東北芸術工科大学の総合型選抜入学試験[専願体験型]は、一般的な大学入試のように「機械的に点数の低い受験者を落とす」だけの選抜型とは全く異なり、大学と受験生の相互理解を深め、通常の入試では評価されにくい受験生自身の魅力を評価するものです。選考の際は、アドミッション・ポリシー（大学側の求める学生像や受験生の受け入れ方針）やカリキュラムなどを理解していただき、ワークショップや体験授業に参加いただきます。その際に学ぼうとする意欲や取り組む姿勢、大学教育を受けるために必要な基礎的な学力、思考力、判断力、表現力や協調性など、個々の幅広い魅力と能力を見い出します。加えて、面接を通してあなたが持つたくさんの可能性も評価します。これらを通して、受験時点での実力だけでなく、多角的な視点で受験生一人ひとりと向き合い、選考する点が大きな特徴です。

※事前課題や提出物はありません。

また、本入試では面接時にファイル等の資料や作品を持ち込むことはできません。

※総合型選抜入試[専願体験型]は第二志望まで出願可能です。なお第二志望まで出願した場合、出願した学科・コースそれぞれで受験が必要なため2日間を要します。

※試験の詳細については、必ず「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」をご確認ください。



2024年度 学科・コース別 試験内容(予定)

※試験内容に変更が生じる場合があります。また、受験者数が少ない場合は別の試験方法となる場合がありますので、受験の際は、必ず「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」をご確認ください。

※掲載写真は昨年度の試験の様子です。

芸術学部

文化財保存修復学科

- ①体験授業(講義30分程度、レポート作成60分程度)
文化財保存修復に関するミニ講義を受講した後、ミニレポートを提出する

- ②面接
個別面接



歴史遺産学科

- ①体験授業(講義30分程度、レポート作成60分程度)
歴史遺産に関するミニ講義を受講した後、ミニレポートを提出する

- ②面接
個別面接



美術科 日本画コース

- ①体験授業(日本画の風景制作)(300分程度)
決められたエリア内(屋内)で各自、水彩で風景画を制作する
- ②上記体験を通して感じたこと、考えたことを文章化し、振り返りシートを提出する

- ③面接
1グループ2～3人で行う



美術科 洋画コース

- ①体験授業(静物油彩)(300分程度)
油彩制作におけるポイントレクチャーを行い、その後グループごとにモチーフを組み、油彩制作を行う

- ②面接
1グループ2～3人で行う



美術科 版画コース

①体験授業(イラストレーション制作or自画像デッサン制作) (240分程度)

当日にイラストレーション、自画像デッサンのいずれかを選択し、事前レクチャーを行った後に制作を行う

[イラストレーション制作]

イラストレーション制作における事前レクチャーを行い、各自がテーマを自由(絵画的表現から絵本・漫画・アニメ表現まで、抽象具象・カラーモノクロ問わず)に設定し、イラストレーションの制作を行う

[自画像デッサン制作]

自画像デッサン制作における事前レクチャーを行い、鉛筆による自画像デッサンの制作を行う

②ミニ講評会 体験授業終了後、ミニ講評会を行う。また、体験授業を通して気付いたことや考えたことをミニレポートとして書く

③面接
個別面接



美術科 彫刻コース

①体験授業(彫刻制作の体験)(お昼休憩を除いて360分間程度)

大学周辺を散策し、収集した自然物やスケッチをもとに各自が自由な発想で粘土を使って立体作品を制作する

②振り返り

制作物の意図や感想を発表する

③面接

個別面接



美術科 総合美術コース

- ①体験授業（アートワークショップ体験）（前半180分程度、後半60分程度）
前半は、モダンテクニックなどの技法や造形素材を使ったアート技法を体験し、気づきや活動のねらいなどをまとめ、その技法を活用したワークショップイベントを考えて各自

ワークシートに記入する
後半は、自身が考案したイベントを発表する

- ②面接
個別面接



工芸デザイン学科

- ①体験授業（立体制作、平面制作 各120分程度）
立体・平面制作の基礎を学ぶ
立体制作では紙造形を基本とし、工程ごとに学び、条件に沿って制作する
平面制作では配色デザインを行う。デザイン完成後は一

人ずつテーマと工夫した点を発表する

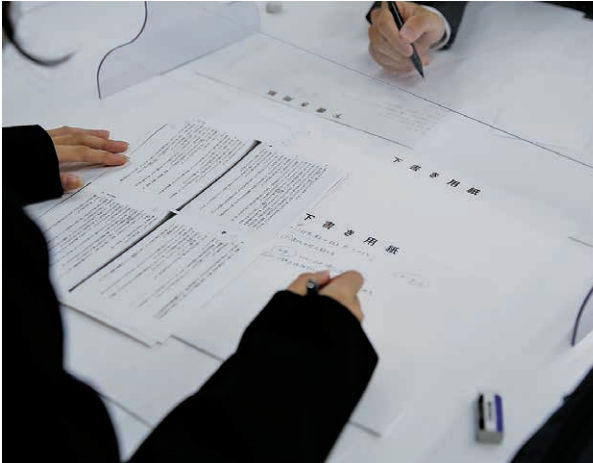
- ②面接
個別面接



文芸学科

①体験授業(150分程度)

教員による説明を経て、グループ単位で昔話をリライト(書き換え)する体験授業を実施し、その内容を発表する



②作文

①で行ったグループワークについて執筆する(600字程度)

③面接

個別面接



デザイン工学部

プロダクトデザイン学科

①体験授業(120分程度)

身の回りのモノの機能や形態を観察し、その理由を考える。
前半のグループワークではそれらの優れた点や改善すべき点を共有し、後半の個人ワークでは対象となるモノの応用展開例を提案する



②面接

個別面接



建築・環境デザイン学科

①体験授業(レポート作成を含めて40分程度)

建築、まち、自然や環境問題に関するミニ講義を行い、講義に対する自身の意見をミニレポートにまとめる



②面接

個別面接



グラフィックデザイン学科

①体験授業(110分程度)

デザインに関する模擬授業を受講した後、その授業の内容について発表する



②面接

個別面接



映像学科

①体験授業(90分程度)

1つのキーワードから独自の映像作品をイメージし、その世界観をアイデアスケッチと文章(600字以内)で表現する



②面接

個別面接



企画構想学科

①体験授業(140分程度)

・ミニ講義

課題解決型ワークショップの進め方に関する講義を受講する

・課題解決型ワークショップ

提示された課題に対して、グループに分かれて企画を考え発表する

・振り返りシート ミニ講義とワークショップを振り返り、整理した内容を記入する

②面接

個別面接



コミュニティデザイン学科

①体験授業(講義20分程度、ワークショップ45分程度、レポート45分程度)

- ・課題解決型ワークショップで取り扱う対象地域、特徴、地域で起こっている社会的課題の講義を受講する
- ・地域の社会課題を解決し、SDGsに寄与する社会を実現するモノ・コトをグループで話し合う

- ・グループで考えたアイデアを発表する
- ・課題解決型ワークショップで得られた気づきや発見、またそれに対する自身の意見についてレポートを作成する

②面接

個別面接



実技

小論文 / デッサン / 水彩画 / 油彩画



出題内容	指定の出題テーマに沿って提示された文章(著作物・新聞記事・コラム等)を読み、その内容に触れつつ自分の考えを600〜800字で述べる
テーマ	「社会と人間」(全入試共通)
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため以下のポイントを重視する 文章力：単なる読みやすい文章だけではなく、論理的な文章を書けているか 読解力：課題文で書かれている主題をきちんと理解し、自らの意見を書けているか 構成力：自分の都合のいいように、強引に理屈をこじつけるような説を述べるのではなく、課題文との連続性の中で文章を書けているか 論理展開力：自らの感想や体験にととまらない普遍的な視点により、論理的な考察を行っているか
大学で用意するもの	解答用紙(原稿用紙縦書き)、下書き用紙(A3、2枚)
受験者が用意するもの	鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り

※2024年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」をご確認ください。

●アドバイス

小論文は感想文ではありません。書き手が思ったことを素直に書いても、それは感想文にしかありませんし、ましてや誰かの顔色をうかがうような「〇〇はしてはいけないと思います」のような心地よい終わり方をする文章は小論文ではありません。

そうならないために必要な力の一つは文章力です。「あーそーゆーことね」と思ったあなた、それは多分違います。わかりやすく読みやすい文章を書くのは当然のことです。入試だからといって特別、要求されるものではありません。そうではなく自らの言いたいことを論理的に伝えるための文章力です。自らの主張のためにどのような語句を使えば良いのか。一文内の構成だけではなく、段落内の文章構成、さらには段落ごとの全体構成も含めて考える必要があります。

二つ目は読解力です。例えば課題文で「白米の美味しさ」について述べられているとしましょう。これに対して「ライスペーパーの便利さ」を書いたとしたら、課題文のテーマからは大幅にずれていることとなります。もちろん同じ「米」について書いているため、解答者自身は関連する意見を述べている感覚に陥っているのはわかります。しかし課題文の主題を見失っていると読み取れます。

三つ目は構成力になります。「白米の美味しさ」という課題文に対し、「美味しい」、「不味い」という対立軸を勝手に構成し、片方の立場で意見を述べるのはベストな選択で

はありません。なぜならまず課題文にその二項対立が書かれているかどうかの確認が必要です。また賛成や反対は誰でもできることで、そこに書き手の力はあまり必要ありません。何より対象に対する思想が一つしかないのは、極めて窮屈な考えです。そうではなく単なる対立軸を越えて、自らの意見を述べる力が試されます。そのためには課題文を踏まえ、自らの意見を論理的に構成し、説得力のある内容を練り上げることとなります。

最後は論理展開力になります。感想文にならないためには、客観的な情報をよりどころにした論理的な思考を行い、それらの情報により自らの意見や思想を裏証していく必要があります。そのためには数多くの本を読み、ニュースに触れ、知識を増やし、自らの身体での体験・経験をしていかなければなりません。ここで陥りがちなのは、自らの体験をただ書くだけで論理的な主張になると思い込むことです。もちろん皆さんの経験は皆さんの経験として重要です。でも別の人が同じ事象を経験しても、正反対の感慨を抱く可能性もあります。つまり個人の体験を普遍化するためには論理的な力が必要となります。

文章を書く訓練、そのために必要な情報の取得を平日頃から取り組むため、小論文を書く力は一朝一夕で身につくものではありません。逆にいえば皆さんがこれまで生きてきて経験したこと、知識として吸収したことが直接的に表れてきます。その多様な知識に裏打ちされた多様な感性は、入学後も必ず活かされます。

総合型選抜入学試験〔併願型〕

問題

以下の文章は、平田オリザ『わかりあえないことから—コミュニケーション能力とは何か』（講談社／2012年）からの抜粋です。

この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600字～800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

※文章は著作権の問題により公開できません。

参考解答

共鳴する対話

かつての日本は、協調性を重視していた。ここで言う協調性とは、直接的な関わりのない他者が決めていることを把握し、常に空気を読みながら周りに従っていくことを意味する。それに対しこれからの日本は、社交性を重視するだろう。というのも、価値観の差異を理解した上で、折り合いをつけていくことが、多様化した社会に必要なからだ。

私は、コミュニケーションを、心からわかりあえることを前提とした最終目標とは考えていない。価値観の相違による小さな摩擦を繰り返していく過程こそ、ひとつのコミュニケーションだと思っただけ。

そもそも「心からわかりあう」とは何か。私が価値観やコミュニケーションという言葉に敏感になったのは、学外の寮での経験だ。他校の高校生、大学生、社会人と寝食を共にした三か月間は、たくさんの違いに出会い続けた日々だった。「多様な価値観」という言葉は、あらゆるところで叫ばれているが、価値観とは、言い換えば「その人の中の当たり前」であり、人生そのものだと思つた。だから違うことが当然で、むしろその中に小さな共通項を見つけることは奇跡のようなものだと思う。出会ってすぐにわかりあえたと思うのは、早くに共感生まれただけで、なかなかわかりあえないと思うのは、対立ではなく、共鳴する点が隠れているだけではないか。

だからこそ、共通項を見出す努力はし続けなければいけない。そのためにコミュニケーションが過程として必要なのだ。まずは、対話の中で、自分を聞き、相手を聞かせて、異なるという事実を「受け止める」こと、そして次に、自己と他者の考えや思いを言語化しながら「受け入れる」ことだ。

協調性から社交性へ、一見すると人々がバラバラになつていくようだが、他者の価値観、即ち人生に触れ続ける努力さえすれば、むしろ本質的な繋がり強まる。それは、みんなが幸せになれる社会につながるだろう。

評価ポイント

人間関係について書かれた文章なので、自分自身の経験を具体例として挙げたくなりませんが、それだけで終わってしまうと単なる自分語りになってしまうので注意が必要です。著者が人間関係の変化を巡って日本の社会や文化を見つめようとしている点を見過さないようにしましょう。参考解答は、課題文のキーワードである「協調性と社交性」の違いを正しく把握している点や、個人的な経験を社会一般に適用できる射程の広い話として構成している点が評価できます。

一般選抜入学試験〔前期・専願型〕

大学入学共通テスト利用入学試験〔1科目利用〕

問題

以下の文章は、原田多加司『職人暮らし』（筑摩書房／2005年）からの抜粋です。

この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600字〜800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

わが国では古来より「技の国、匠の国」を自負してきたし、わが国固有の伝統技術の中に外来の流れを取り込んだうえで、残すべきものを普遍的なかたちとして結晶化してきたところが昨今のように、過去を劣つたものとか遅れたものとか考えられない時代が続くと、「故きを温ね、新しきを知る」といった悠長なことはやらないのか、歴史の底流に蓄積されているはずの潜在的な技術力が見落とされているようである。

技術社会の基礎の劣化は、今やあらゆるところで見ることができ。進んだハイテク技術がある一方で、企業ぐるみのミスや手抜き、はなはだしきは犯罪的行為までが頻発する。誰もが起こった問題に積極的に責任を取ろうとせず、トップが自己保身に汲々として責任を部下に押しついたり、下請に転嫁して平然としている例も多くなった。こうなると、人々が長く拠り所としてきた社会相互の信頼が揺らぎ、安全も遠のく。多くのシステムを支えてきたはずのマニュアルの衰退も著しくなってきた。

時を経た職人の技術として例外ではなく、大工といつても今や工場で一括生産された外壁パネルや軽量鉄骨、加工された木材をプレモジュールのように組み立てるだけだ。また左官も、タイル貼りや乾式キャスト(注1)の補修、土間のコンクリート打ちや吹付防水といった工業化住宅の補完作業に追い捲られるばかりで、まともな塗り壁とか漆喰を取っという左官本来の仕事は激減している。これらの仕事ならばつきり言つて熟練技能者は必要ではない。

工業社会では一九九〇年代に入つて大量生産・大量消費を前提としたものづくりから、多品種少量生産に移行する過程で、熟練した工場労働者が見直されはじめたという意見もある。事実、中小の町工場でも、大企業がなし得なかつた先端技術の分野で、華々しい成果を挙げる例も見られるようになってきた。これらはいずれも工場主自らが技術者で、一定の経験を持つて自ら図面を引き、機械を使いこなせるタイプであることが大きい。時にはヤスリやキサゲ(注2)を使い、組立てもするからこそ、従業員も二目置くのである。

ところが建築の現場では、この熟練技術再評価の動きが一部を除いて未だに見られない。職人などという仕事を長くしていると、昨今の現場レベルの低下には深刻なものがあるとなつていふ考えになってしまう。それは伝統建築の世界でも同じことで、基本的な構造や準拠すべき枠組が揺らぎ出す

と案外脆いもので、その徴候はまず末端の現場にあらわれる。私たちの世界が次第に重層化し、ひたすら専門化・分業化して、末端までの二元的な管理が難しくなつてきた時期と、それは一致している。

戦後、特に高度成長期以降のわが国の建築の歴史は、有体にいえば建築職人の矜持(注3)をなしくずしにしていつた過程でもあつた。画化と合理化の果てに、工末することすら許されないまま、一個の部品として下請、下請、孫請といつた重層構造の中で喘いでいる現状があることも、多くの人に知つてほしい。

職人は芸術家やその道の大家などではなく、まして趣味や道楽で何かをしているわけではない。生きるために否応なく技を身につけ、家族を養つために生業としただけである。だからこそ「熟練の技術と経験が大切だつたのである。

(注1)「乾式キャスト」：工場で生産されたパネル

(注2)「キサゲ」：表面をさらに仕上げるためのノミ状の工具

(注3)「矜持」：プライド、誇り

参考解答

「伝統」の持つ力

日本という小さな国が、長い歴史を持ちここまで続いてきたのは、固有の「技」や「伝統」を守り進化されることで独自の強い基盤を育ててきたからなのではないだろうか。先人達の生きる知恵と外部の流れを取り込み、新しい「伝統」を生み出すことが、未来をつくる力となっていた。

しかし、現代はどうであろうか。最新の技術・ハイテクに気をとられ、利便性や効率ばかりが注目されている。合理化された社会には、先人の様々な知恵や歴史、思いが込められた「伝統」は要らないのである。現に、日本でも多くの「伝統」は失われ、文化・産業が衰退の危機にさらされているのにも関わらず、多くの人は関係のないものとし、新しい便利なものに流されていく。こうした現状が続けば、日本は「日本」という個性を失い、世界という大きな社会の中に埋没してしまう。独自の文化を失い、画一化してしまった「無個性」な存在は代わりがきくものとされ、必要とされなくなる。また、合理化が追求された社会というものは弱い。なぜなら、合理的で完全とされた社会にはころびが生まれた時に、修復する知恵も土台となる歴史も持ち得ないために壊れてしまうからだ。

断じて、新しいものを取り込むことが悪いのではない。新しいものを手に入れようとするあまり、古いものを捨ててしまうという点が問題なのだ。「新しさ」と「古さ」を掛け合わせて弁証法的に高次なものへと発展させることが求められている。

日本の伝統、守ってきた職人、技術を失うことは日本の歴史と未来を失うことに他ならない。何故「伝統」は残り続けたのか、守られてきたのか、その意味に向き直す時期が来た。日本に住む一人ひとりが、「伝統」を守り発展させていく関係者として生きることが日本を未来に繋げていくために必要だ。

評価ポイント

参考解答は、「技の国、匠の国」を自負してきた日本が、高度成長期を経て画一と合理化の果てに職人があえいでいる状況を理解し、その上でこのような状況が懸くことによる日本の行く末を心配しています。さらに「新しさ」と「古さ」を掛け合わせて高次なものへと発展させる視点を提示し、伝統が残り続け守られてきた意味を問い直す必要性に繋げて素直に記述している点が評価できます。

一般選抜入学試験〔後期〕

問題

以下の文章は、田中 大介(2013年)『味覚のトポグラフィー(ラーメン屋)』、近森高明・工藤保則編『無印都市の社会学』(法律文化社)からの抜粋です。

この文章を読み、「社会と人間」をテーマに自分の考えを、600字〜800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

〈ラーメン〉をめぐる欲望の特異性は、いつでも・どこでも・すばやく・同じようなものを摂取できるファストフード的な食文化でありながら、それに収まらない過剰さを備えているところだろう。社会学者のシヨージ・リッツァは、マックス・ウェーバーの合理化論を受け継ぎ、近代社会における効率化・画一化の消費領域への拡張を「マクドナルド化(注1)」とよんでいる。

ラーメンチェーン店の拡大やインスタントラーメンの工場生産は、「マクドナルド化」ということができる。しかし、少なからず存在する「きれい」とはいえない店舗への長時間の行列、また店ごとに異なる注文やカスタマイズの仕方(こうした注文の仕方は「呪文」といわれることもある)のわかりにくさは、反、合理主義的とさえいえる。またチェーン店のみならず、暖簾分けというシステムが残存し、有名ラーメン店主がカリスマ化していく過程(ご当地ラーメンならぬ「ご当地ラーメン」と呼ばれる)は、どんな人でも入れ替え可能なマニュアル化された匿名的な非・熟練労働だけでなく、作り手の固有名とインフォーマルなつながりによって維持される熟練労働の要素を含む。ラーメンという外食産業は、「マクドナルド化」という効率化・画一化過程を取り込みながら、そこに収まらない過剰さのなかで進展してきたのである。

ただし、そうした過剰さもまた、大量生産される。たとえば、チェーン店のような「いつでもどこでも同じ」というイメージとは異なるイメージを演出するために手書きの文字・イラスト、古びた材木、木造の内装を用いて「手作り感」や「温かみ」を売りにするラーメン屋がある。ほかならぬラーメン博物館(注2)の内装はその実例といえよう。しかし、「手作り感」があり、「温かみ」のあるラーメン屋の外観・内装こそ、いつでもどこでもみられるようになってはいないだろうか。実際、こうした店舗イメージのトータルな演出手法は、コンサルタントやプロデューサーとよばれる人びとや企業によって生産され、ラーメン屋の開業・経営マニュアルにも掲載されている。

たとえばある開業マニュアルによると、「外観におけるおいしさ感」の演出とよばれる項目が設定され、①暖色系の色使い、②300〜500ルクスくらいの照明、③木目、塗り壁など天然の素材感、④調理が実演されるオープンキッチン、⑤こだわりや理念、歴史を書いた文章の掲出、⑥

手書きのPOP(注3)という手法が紹介されている。

上記のマニュアルによれば、消費者は、高い批評精神をもたなくとも、なんとなくそうした雰囲気を感じながら、「うまい/まずい」を判定し、入店するとされる。ラーメンの選別・分類・更新という作法と感覚をいったん身につけた消費者は、おいしいラーメン屋をもとめ、つい評論家のようにぶるまってしまう。そんなラーメン屋の過剰さを読みとろうとするラーメン好きの振舞いの可笑しさ、そしてある種の「キタなき」や「殺伐とした雰囲気」を許容し、味覚の刺激を突出させることもあるラーメン屋という業態の特異性を表現しているのは、「きたないラーメン店はおいしい」という神話だろう。生産者は、そうした消費者の「外したくない」という欲望と方法を逆手にとって、外食産業としてまもるべき「清潔さ」を踏み外さない程度の過剰さをまとった「おいしさ感」の演出をマニュアル化する。しかし、たとえば上記のような外観・内装が、そのプロデュースを手掛けた会社の名前を取って「パシオ系(注4)」といわれるように、ラーメンマニアはそのようなマニュアルをふたたび新たなパターンとして読み解き、凡庸化する。ラーメンの生産者と消費者は、そうした〈ラーメン〉という可能性を広げるおわりなきゲームをくり広げている。

(注1)「マクドナルド化」：社会が合理性を追求し、ファストフード店の特徴・原理を導入し、多くの分野で活用されている状態を言う。

(注2)「ラーメン博物館」：神奈川県にあるラーメンに関するフードテーマパーク。正式名称は「新横浜ラーメン博物館」。全国の有名店舗が出店しているだけでなく、体験フロアやミュージアムショップもある。

(注3)「POP」：店頭に置く広告物などを指し示す。多くの場合、販売促進のために制作された看板やのぼり、パネルなどを意味する。

(注4)「パシオ系」：株式会社パシオが手掛けた店のことを意味する。手書きのような書体が使われた看板など共通するデザインが特徴的である。

参考解答

合理化と人間の欲求

私は、これからの社会で合理化が進み続けたとしても、人間は己の欲求を失わなければ合理化の波に自我を見失うことはないと思う。合理化の波とは具体的に、マニュアル化や機械化など、急速に進む人間社会のあらゆる「無駄」を切り離す風潮を指す。例えば、山の土地の広さを「無駄」とし、山自体に価値をつける個人の意志を大勢の人の承認によって見えなくしてソーラーパネルを幾枚も並べることなどが挙げられる。便利にするという考え方を敵視したいわけではないが、合理的な考えの為に人間の意志を失くすのは人間社会としての存在が危うくなるだろう。

そんな合理的な波が荒くなった昨今に、一人の人間として考え方も感情も非合理性も大事に抱えて生きていくためには、やはり欲求がカギとなるだろう。欲とは生物の持つ非合理の塊である。人間は特に承認欲求など非常に複雑な欲を持つ。しかもそれは個体差が顕著に出るため、人間の欲の定義は出すことができない。ファストフードの出現によって人間のある程度の好みを定め、効率化を実現させたように思えるが、文章のように個人の欲を満たすためにはマニュアル化のできない過剰さも必要である。この過剰さは生産者と消費者のおわりなき対抗によって最後まで定義することもできないだろう。人間の欲の難解さが留まらない限り、その合理化も難しい。

人間が社会の合理化の波にさらわれない為には合理化の手の届かないところに自分を置いておく必要があるだろう。ライメンマニアのように自分の欲に対するこだわりや研究を止めず、果てしなく分析することで、合理化や機械化のぬるま湯にどっぷりとつかり、自我を失う暇はなくなるだろう。

評価ポイント

さすがに「私の好きなライメン屋」が解答に書かれることはなかったが、多くの人は課題文から抽出したテーマとの距離感をつかみそこねているケースが多かった。ほんのわずかなポイントを大きく引き伸ばして、自身の考えを述べるだけに終始しているケースが散見されたのである。課題文自体はライメン屋について述べているだけではなく、マニュアル化を踏まえて送り手と受け手が双方向的に文化を醸成していく様子が書かれている。そのなかで参考解答は「合理化」だけでなく「欲求」という点も引き付けて、持論を立体的に構築している点が評価できる。

出題内容	鉛筆によるデッサン モチーフ: 日用雑貨と手 (片手・両手いずれも可) (全入試共通)
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する 観察力: 形、質、色などモチーフが持っている情報をどれだけ多く得られているか 構成力: モチーフの組み合わせ方、画面にどのように描いているか 描写力: 観察して構成したものをしっかり描いてモチーフの特徴が第三者にも判るか
大学で用意するもの	B3画用紙、下書用紙 (A3、2枚)
受験者が用意するもの (使用可能用具)	鉛筆デッサン用具一式、カルトン (画板) またはパネル、カルトン用クリップ、フィキサチーフ (定着液は試験終了時に限って使用可) 使用可: 鉛筆 (シャーペン可)、消しゴム (練り消しゴム含む)、鉛筆削り用具 (カッター含む)、デッサンスケール (デスクル)、擦筆、羽ぼうき (製図用ブラシ含む)、はかり棒、定規、ティッシュおよびガゼ (袋から出して使用)

※2024年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」をご確認ください。

●アドバイス

モチーフは日用雑貨としてみなさんが日頃から目にしているモノです。普段目しているモノだからこそ改めてしっかり観察する事から始めてみてください。また、モノと人 (手) がどのように接しているのかも観察してみましょう。そして、沢山描いてみるのが大切です。デッサンの評価ポイントは「観察」「構成」「描写」の3つです。この評価ポイントに従って描いてみましょう。

(1) 観察

「観察」のポイントは、モチーフが持っている情報を収集し、それがどういうモノなのかを理解できているか? です。手は骨格や筋肉のつき方など、皮膚の下にある構造を意識することが必要です。各指の太さや長さ、手のひらの大きさ、厚み、手首と腕の長さなど、それぞれの比率も重要なポイントです。また皮膚や爪などの質感表現は、「手らしさ」を表す大切な部分です。日用雑貨も同じように構造的な観察を行ってください。紙コップなどのモチーフは形や比率の正確さが特に重要です。またコップの縁の膨らみや紙の薄さ、

持ったときの軽さ、ロープの柔らかさなど、その物らしさを表す部分を見落とさないようにしましょう。

(2) 構成

「構成」のポイントは、モチーフの組み合わせ方、そしてそれらを画面にどのように描いているか? です。まず手と日用雑貨の組み合わせ方が重要です。モチーフそれぞれの「らしさ」が出るポーズ、アングル、組み合わせた時に立体的な空間を作れているか等を注意深く確認しましょう。次に画面にどのように配置するかですが、大き過ぎず、小さ過ぎず、画面の余白との関係をしっかり確認して位置を決めましょう。

(3) 描写

「描写」のポイントは、観察し構成したモチーフがしっかり描き込まれているか? です。そのためには光の方向を定め、陰影のつき方に矛盾が起きないようにしましょう。また、モチーフの手前と奥の描き込み密度、鉛筆の濃淡の使い分け、観察や構成から得られた事を整理して描き込むようにしましょう。

総合型選抜入学試験[併願型]

問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：輪ゴム



参考解答



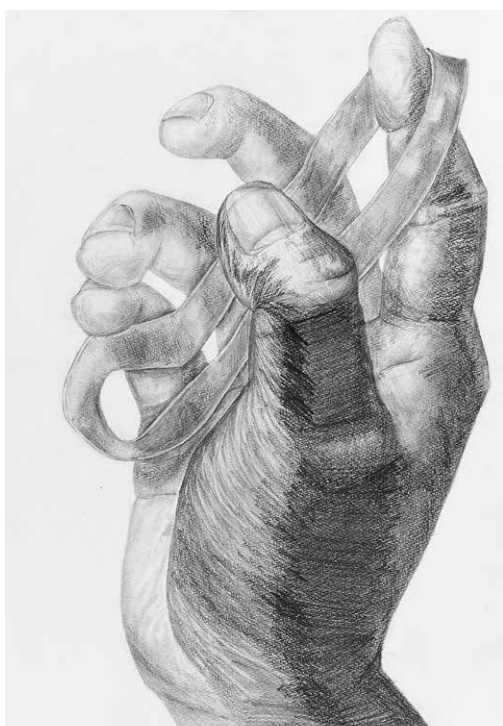
評価コメント

手とモチーフとの関係がよく考えられており、構成の狙いを明確に打ち出しています。有機的な手を大きく背景に回し、直線的にピンと張った輪ゴムを画面の中央に配置しながら、手と輪ゴムの特徴をうまく表現しています。全体的に少しコントラストが強めですが、手の細かいシワや指に落ちる輪ゴムの影の描写など、隅々まで意識が行き届いています。



評価コメント

手前の親指を主役としながら、輪ゴムのリズム感のある連なりによって全体が上手くまとめられています。輪ゴムの厚みまでよく観察している点も高く評価できます。惜しいのは小指に回り込むゴムのつながりがズレてしまっている点です。また、親指の付け根の描写の密度をもっと上げることで画面手前にぐっと迫り出す印象となり、大きな立体感を出せるでしょう。



評価コメント

逆光の影のコントラストを強めることで、奥行き感と輪ゴムの透明感をうまく表現することができています。輪ゴムは緩んだ状態で指にかかっていますが、微妙な面のひねりによってゴムの柔らかさや収縮性を感じ取ることができます。小指側の輪ゴムの形状がやや不自然なので、面の変化を陰で明確に描写するとより説得力が生まれるでしょう。

評価コメント

画面いっぱいに無駄なく配置した構図により、迫力のある空間を構成しています。親指の爪とゴムを丁寧に描き込むことで空間の近景を見る者にしっかりと意識させ、また親指から小指への距離感を輪ゴムの幅の変化を使って表現しています。トップからの光を丁寧に観察して手や指の立体感を描き、反射して回り込む光も表現できています。



**評価コメント**

輪ゴムで作った三角形が、画面の中で力強い構図を生み出しています。鉛筆の濃淡を使い分けて親指のシワをしっかりと描くことで画面の最近景を作り出し、コントラストの低いシャドウ部の中にある薬指と小指も丁寧に描けています。また手の底部に写る机からの反射光も観察し、柔らかな丸みと立体感を表現できています。

評価コメント

モチーフである輪ゴムと指を使って空間を作っている構図が良く描き表されている良いデッサンです。人差し指にかけた輪ゴムと中指、親指で摘んでいる部分の描き分けも出来ており欠点の少ないデッサンといえます。欲を言えば輪ゴムというモチーフの伸びる特長をもっと活かしたポーズになっていると良いでしょう。



一般選抜入学試験[前期・専願型]

大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]

問題

与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ:ビニールテープ



デッサン

参考解答



評価コメント

モチーフであるビニールテープが垂れ下がった様子を描くために手を下向きにした構図が画面の中に大きな空間を表している良いデッサンです。しかしテープのパスとプロポーションが合っていない点は致命的です。質感はしっかり描けていますが、モチーフらしさを表すためには形を合わせる作業がとても大切です。



評価コメント

手はハーフトーンを基調として、繊細に描写しながら全体的に柔らかさが表現されています。

ビニールテープも光沢やロゴなどの特徴を上手く拾いながらリアルに迫っています。どちらも影の調子の付け方に優れています。一点だけ、親指と重なっている薬指に矛盾がありますので、全体を冷静に見直し修正する時間をもつ必要があります。



評価コメント

ビニールテープと手の配置や大きさがバランスよく収まった構図になっており、人差し指に向かって引き出されたテープによって立体的な配置がより明確に伝わってきます。テープの薄さや光沢感、伸び、粘着性などのビニールテープの特徴が、しわや光の反射によってリアルに表現されており、モチーフへの観察と物性の理解の深さがうかがえます。

一般選抜入学試験[後期]

問題

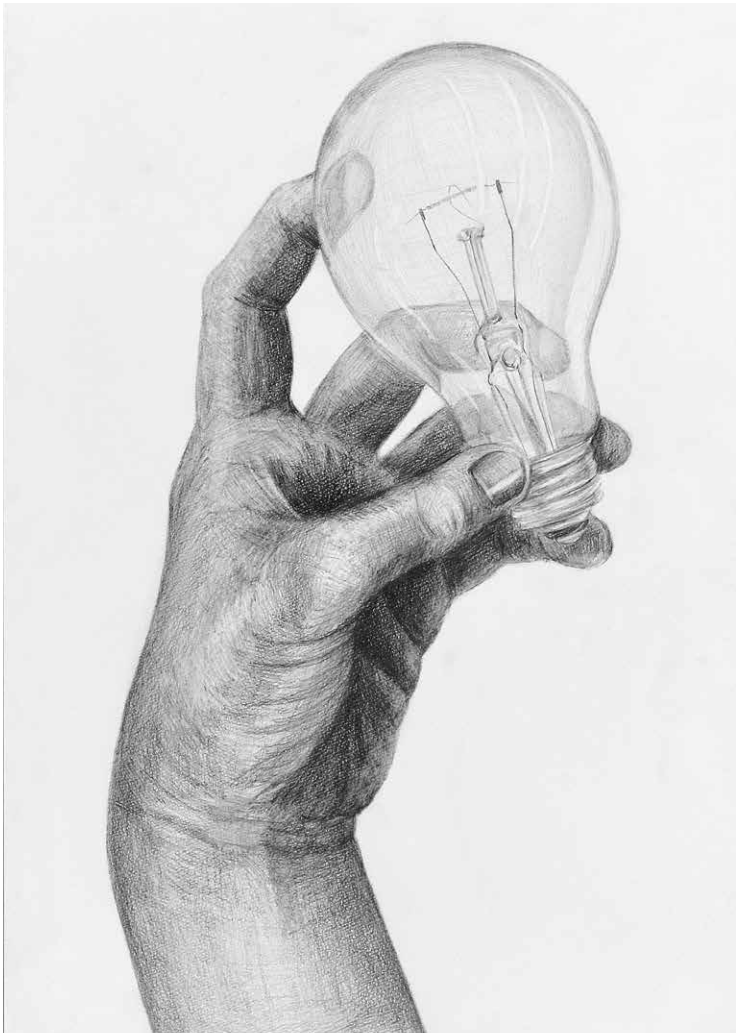
与えられたモチーフと、それを持つ手をデッサンしてください。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：クリア電球 1点



デッサン

参考解答



評価コメント

ガラスと金属で出来ている電球は難しいモチーフですが、それをしっかり描くためのポーズと指の位置によって透明な電球の立体感を表している良いデッサンです。ただ、手の表現に対して電球の描き込みがやや弱い点が残念です。ガラスの写り込みや金属の質感を描き分けるとより良いデッサンとなります。

出題内容	水彩画制作 [試験別モチーフ] ○総合型選抜入学試験[併願型]: 果物、野菜、無機物などの静物1~2点 ○一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] 花、果物、野菜、無機物などの静物を数点
評価のポイント	「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する ○総合型選抜入学試験[併願型] 描写力(技術): 対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか 観察力: 対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか 発想力(独自の視点): 画面上において、対象から得た情報を独自の視点で解釈、表現出来ているか 表現力(色彩表現): 色彩を用いて対象の魅力を表現出来ているか ○一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] 描写力(技術): 対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか 観察力: 対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか 発想力(独自の視点): 画面上において、対象から得た情報を独自の視点で咀嚼、表現出来ているか 構想力(構図): 対象を卓上で組み合わせ、それらを画面上で構築することが出来ているか 表現力(色彩表現): 色彩を用いて対象の魅力をいかに表現出来ているか
大学で用意するもの	P12号の水張りパネル
受験者が用意するもの	水彩用具一式、筆洗、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、描画用具

※2024年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」をご確認ください。

●総合型選抜入学試験[併願型] 出題のねらい

一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]と異なり、限られた数(1~2点)のモチーフで水彩画の試験を行ないます。対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということが特に重要です。目前の対象をただ写し取るだけでは無く、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、また対象の魅力を引き出していく姿勢を重視します。

●総合型選抜入学試験[併願型] アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切に、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

対象を理解した上で、どのように表現するのかということをお大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを問い、制作に励んでください。

●一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。構想に対しての感覚も評価のポイントです。与えられた対象を用いて、明確な意図を示した構図、構成を期待します。

絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切に、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

5時間という限られた時間の中で魅力的な画面を作るには、何を主題とするのかをしっかりと見極めて制作することが重要です。対象を理解した上で、どのように表現するのかということをお大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを問い、制作に励んでください。

総合型選抜入学試験 [併願型]

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：白菜(二分之一)、新聞紙



参考解答



評価コメント

新聞紙との重なり方に配慮しながらも、白菜を中央に配置した意欲ある構図に好感が持てます。白菜においては形態を理解し、表情や質感、そして彩色に至るまで、観察がよくいき届いています。断面の複雑かつ繊細な表情を筆で丹念に描写しながらも、実の詰まった印象を見事に表現することが出来ました。また、新聞紙の描写においても熱意が伝わってきます。



評価コメント

状況や空間を大事にしていることが伝わってくる配置構成です。白菜の葉の表情や新聞紙のきわの扱いには工夫が見られ、対象の魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。左からの光源に設定した状況が美しく感じられますが、それぞれの表情に淡白なところがあるようです。デッサンの段階でしっかりと描写を行い、その上で色彩表現において質感を考えながら筆でしっかり描写していくと良いでしょう。

**評価コメント**

白菜と新聞紙をシンプルに構成しつつ、それぞれの特徴と質感をしっかりと描写することができています。白菜の断面と側面の葉の複雑な表情に誤魔化されない形態の意識を大事にしながらも、表情をしっかり観察し、どっしりとした量感を表現しています。新聞紙も、折り目や皺を利用しながら表情を追うことができています。接地の意識がもう少しですが、対象を捉えようとする熱意が伝わってきます。

**評価コメント**

白菜を中央に配置した意欲ある構図に好感が持てます。白菜の形態を理解し、表情や質感に至るまで、観察がいき届いています。複雑な表情を筆で丹念に描写し、白菜の持つ印象を表現することが出来ました。新聞紙は描き切ってはいますが、配置の仕方が単調なため、折り目をずらしてみたり、また折り目をつくるなど工夫することが出来ればさらに表情が豊かな絵になったでしょう。

一般選抜入学試験[前期・専願型]
大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：花(菊1本、スプレー菊2本)、ピーマン2個、
柿1個、さつまいも2本、布1枚、デキャンタ1個



参考解答



評価コメント

花と瓶を中心に据え、全体的にバランスよく配置された構成です。

花、瓶、柿、さつまいも、ピーマン、布と異なるそれぞれの対象の特徴をしっかりと描写し、質感を表現することが出来ています。また、彩色においてもそれぞれの色を感じ取りながら豊かな色彩を表現することが出来ています。対象の細部まで丁寧に観察してこうとする姿勢、対象の魅力を引き出そうとする熱意に好感が持てます。



評価コメント

花、瓶、野菜果物、布に至るまで、それぞれの対象をしっかり捉えることが出来ています。配置構成も吟味され、左からの光源に設定した状況が美しく感じられます。全体を見渡しながら部分の観察と対象の魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。柿やさつまいもの形態の捉え方が単調なため、アウトラインのかたちを丁寧に見極めていくと良いでしょう。



評価コメント

全体にバランス良く配置され、ゆったりとした空間を捉えた秀作です。左からの光源を設定の上、対象の配置や関係性への意識の高さがうかがえます。花、果物、野菜など、細部まで行き届いた観察と対象の魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。色彩表現においても質感を考えながら筆で丁寧に描き切り、対象に迫ろうとする姿勢を垣間見ることが出来ます。

一般選抜入学試験[後期]

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：啓翁桜1本、ブリキ缶1個、りんご1個、ウド1本、
ビー玉(赤色、青色、緑色)各1個、画用紙(薄青色、薄緑色)
各1枚、缶ジュース1点



参考解答



評価コメント

ブリキ缶を寝かせて、さらに画用紙を丸め、その工夫によって桜の先端をすっきりと見せるなど、配置や関係性に対して意識の高さが窺えます。前景、中景、後景の捉え方にも好感が持てます。桜やウド、りんごなど細部に至るまで観察が行き届き、それぞれの特徴や質感がしっかり描写されています。対象に迫る熱意が伝わってきます。



評価コメント

バランス良く配置され、ゆったりとした空間を捉えた秀作です。対象の配置や関係性への意識の高さが窺えます。色彩表現においても質感を考えながら筆で丹念に描くことで対象に迫る熱意、気迫を感じます。手前のりんごは桜との関係を意識しつつ、表情をしっかりと観察し、りんごらしい表情と量感を表現しています。加工した画用紙の細部の表現まで丁寧に描写する姿勢に好感が持てます。

**評価コメント**

全体的にバランスよく配置された構成です。ブリキ缶の上のりんごの形態をはじめ形の捉え方にはやや難が見られますが、独自の視点で対象の魅力を引き出そうとする姿勢に好感が持てます。それぞれの対象の特徴をしっかりと描写し、質感と量感を表現することができています。特に桜は花のみならず枝や花の付け根、つぼみの観察と描写が行き届いています。

出題内容	<p>油彩画制作(アクリル絵の具も可)</p> <p>○総合型選抜入学試験[併願型]: 静物油彩(F12号) 器物、ガラス、野菜、果物など複数のモチーフがセッティングされた状況を描く</p> <p>○一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]: 自画像油彩(F10号)テーマやモチーフの課題に沿って自画像(自身)を描く</p>
評価のポイント	<p>[思考力・判断力・表現力]を評価するため、以下のポイントを重視する</p> <p>○総合型選抜入学試験[併願型] 描画力: 対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか 構成力: 台上に置かれた複数のモチーフを、適度な大きさと画面上にトリミングし、描くことができているか 空間表現: 画面全体のパースペクティブ(遠近感)を把握し、物の前後関係や奥行き、そして背景との繋がりが描かれているか</p> <p>○一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] 描画力: 対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか 構成力: ポーズやモチーフの画面への入れ方、背景との関係を意識できているか 発想力: 出題テーマやモチーフの魅力を引き出すためのアイデアを思考し、自然に表現できているか 素材の扱い: 油絵具(アクリル絵具)の素材の特性や、筆やナイフなど画材の扱い方を理解し、活かしているか</p>
大学で用意するもの	<p>○総合型選抜入学試験[併願型]: F12号のキャンパス</p> <p>○一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]: F10のキャンパス、鏡</p>
受験者が用意するもの	油彩画用具一式(アクリル絵の具も可)、描画道具(使用可能用具)

※2024年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」をご確認ください。

●アドバイス

総合型選抜入学試験[併願型]、一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト[1科目利用]の各試験は、それぞれ出題が異なります。

総合型選抜入学試験[併願型]は、静物モチーフを油彩で描く課題です。台に布を敷き、自然物や工業製品のモチーフが、どの角度からも同じに観えるよう公平に配置されています。描くときに気を付けてほしい重要なポイントは、台とモノの関係やパースペクティブ、明暗、量感、質感など、基本的なモノの捉え方です。工業製品である瓶やグラス、ブロックなどが正確な比率で描けているか、自然物である野菜や果物、植物がみずみずしく彩り豊かに描けているかなど、モノの形態や特徴、色彩や存在感を意識することが大切です。トリミング(画面を切り取る)ことは、モチーフの主役・脇役を考え、全体的に小ぶりにならないように気をつけて下さい。その際に背景の面積の空けすぎにも注意しましょう。モチーフは切れ方や配置が不自然にならないように、大きさや前後関係を考えながら画面の中で多少移動しても構いません。水平の台にモノが安定して置かれている状況や、空間の繋がり(手前・中間・奥)を意識して描いて下さい。

一般選抜入学試験[前期・専願型・後期]・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]は、自画像を油彩で描く課

題です。テーマ内容やモチーフの課題に沿って、自身を自由に描きます。従って総合型選抜入学試験[併願型]に比べて、より自由で幅広い表現が可能です。自画像と背景との関係を考慮しながら、ポーズが画面にどのように入るかを意識して下さい。出題テーマは、具体的な状況イメージを想定して、モチーフ課題はそのモノをどのように扱い画面に入れるかを考え、自然な状況を意識して描いてください。自画像の構図は、顔を適度に大きく入れ、角度や動きを意識すると描くポイントや存在感を演出できますが、アイデア次第ではそうでなくても構いません。テーマから導かれる物語性や、モチーフの特性を捉えた個性的なアイデアを考えてみましょう。その際、あまり不自然な状況になり過ぎないように注意して下さい。支給された鏡を活用し、自身の発想力を最大限に活かしながら自画像を描いて下さい。

どちらの入試課題も構図は縦横自由です。油絵具(アクリル絵具も使用可)の素材の特性や色彩、物質感を活かしながら、筆やナイフ、布や指などを工夫して使い、自身の感性を引き出すよう楽しく描きましょう。しかし5時間の短い試験時間内ですので、過度なテクニックを求めてはいけません。あくまで観察を基本に、対象を的確に捉えながら、しっかり描いて下さい。積極的なアプローチを心がけ、絵心溢れる絵画制作をして下さい。

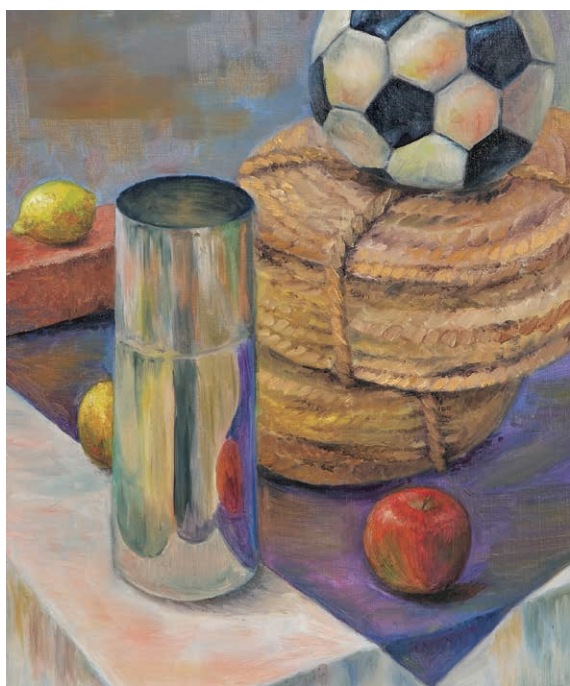
総合型選抜入学試験 [併願型]

問題

油彩にてモチーフを描きなさい。



参考解答



評価コメント

落ち着いた色調で全体的なまとまりが感じられる作品です。ステンレスの筒の写り込みやサッカーボール・縄の束など細部までしっかり観察・描写ができており質感に説得力があります。個々のモチーフを丁寧に描き込み、それぞれに影響し合った色彩が画面に奥深さを持たせています。奥に置かれたレンガの接地面を強く描くことでより奥行きを感じさせる仕上がりとなりました。

評価コメント

ステンレスの筒の淵に描かれた繊細なハイライトが金属の薄さを印象的に見せています。モチーフを大きく入れたため、ボールや縄が切れすぎてしまい形状が伝わりにくくなってしまいました。縄の描写に物足りなさはあるものの、布のパスが的確に捉えられている為にモチーフに安定感があります。赤を基調としたハーフトーンの良い作品です。





評価コメント

縄の束やサッカーボールの切り方など、モチーフがバランス良く配置されて見やすい構図です。サッカーボールの模様、黒とステンレスの筒の空洞の影が描き分けられ、またモチーフが持つそれぞれの円の形が響き合い、リズムカルな印象を与えています。光の方向がしっかり意識されており、サッカーボールの転がりそうな形態や重そうな縄の束・ステンレスの筒に存在感を与えています。筒で遮られた縄の楕円の見えない部分も意識して描けているのも、安定した画面に見えるポイントです。



評価コメント

手前の正面を向いたレンガを切ってしまった為に一面しか見えず、形状が伝わりづらい構図になってしまいましたが、ステンレスの筒のコントラストを強く見せる事で空間の奥へ視線を誘導できています。陰側の色に多彩な青味の間中色を見出し、画面をドラマチックに見せています。背景や床に置かれた布はフラットに塗り込み、モチーフは絵具を重ねるように描写するなど、タッチにも差をつけて質感の違いにも気を配った力作となりました。全体的に青が染まってしまったのは残念です。



評価コメント

温かみのある色調と、伸び伸びとした画面が魅力的な作品です。縄の束とサッカーボールを大きく入れる為に他のモチーフを切り過ぎてしまい、空間の広がりには弱くなってしまいましたが、接地面を強く描くことで床の安定感を表現できています。メインである縄の描写に物足りなさはありませんが、光が当たるボールや縄の影の色彩表現に工夫が見られる秀作です。

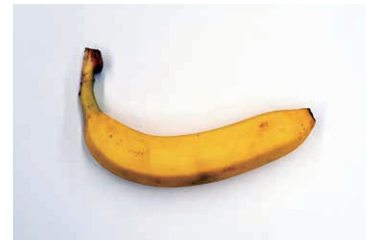
一般選抜試験[前期・専願型]

大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]

問題

与えられたモチーフを入れて、油彩(アクリル絵具の使用も可)にて自画像を描きなさい。

モチーフ：バナナ1本



参考解答



評価コメント

明快な構図と実直な描写が魅力的な作品です。吊るされたバナナを見上げる視線と、手に持った角材によって対角線の動きが生み出され、身体の正面性と響き合う力強い構成となっています。光の方向をはっきりと意識して、明暗と色味の変化や対比を丁寧に描いており、人物とモチーフの存在感が際立っています。

評価コメント

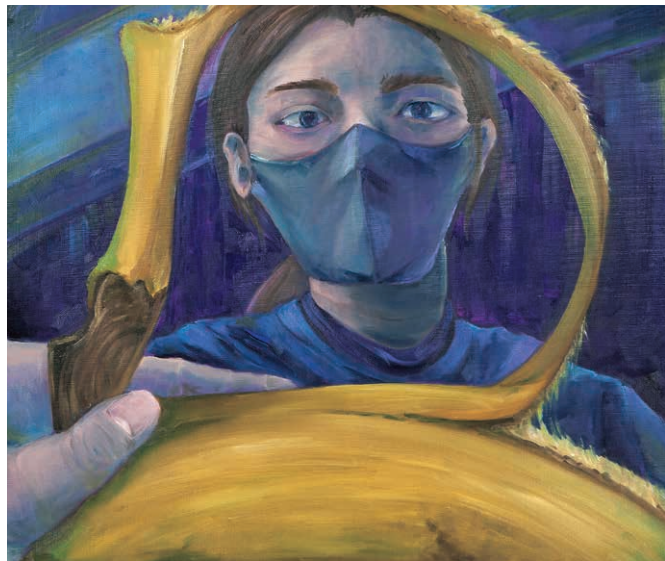
濃密な色彩と強い明暗対比が印象的な作品です。斜めを向いた顔の手前にバナナを重ねて描き、背景にも小さくバナナを描くことで奥行きを効果的に表現しています。また、目元とマスクの明暗対比を特に強調することで鑑賞者の視線を集中させる工夫がなされています。身体部分の立体感を意識できるとより説得力を持たせることができたでしょう。





評価コメント

バナナの皮を頭に被せた構成がユーモアを感じさせる作品です。明るい色彩の中に濃い青や紫を使って形や明暗の変化を効果的に描いています。見下ろした視線や耳へと向かう側面の奥行きも的確に表現されています。マスクやパーカーそして背景の色味の違いや中間色の幅を意識することで、より存在感のある作品となるでしょう。



評価コメント

バナナの皮で大きなアーチ状の空間を作って顔を覗かせる意外性のある構図がユニークです。黄と青の対比を基調として、肌の暗い部分に寒色を用いることで画面全体の統一感を生み出しています。バナナを持つ指の描き込みと、顔の側面の奥行きを意識した表現が加わると構成の意図がさらに明確になるでしょう。

**評価コメント**

笑顔とバナナの形を組み合わせた構成に工夫が見られ、両手も生き生きと描いた意欲作です。ペインティングナイフと筆を巧みに使い分けており、勢いのあるタッチが魅力的です。肌やマスク、衣服の影の色味が同じ暗さに黒ずんで見える部分があるため、色味の違いを意識するとより爽やかな表現となるでしょう。

評価コメント

ポーズやモチーフの扱い方、配色などに工夫が見られる作品です。バナナの皮と指を絡ませたポーズの複雑さと、輪切りのバナナが描かれた背景のシンプルな構成の対比が目を楽しめます。斜めの角度から捉えた人物の量感表現も的確です。指先をもっと描き込み、輪切りのバナナと人物の前後関係を意識すると、より奥行きのある作品となるでしょう。



一般選抜入学試験[後期]

問題

下記のテーマから1つを選び、自由に発想して自画像(自身)を油彩(アクリル絵具可)で描きなさい。

テーマ:「食」または「サステナブル」

参考解答



評価コメント

ポーズや表情、色彩などに独自性が強く表れている作品です。眉間に皺を寄せた表情やマスクの中に手を入れる仕草の描写にこだわりが感じられます。彩度を抑えた肌の描写と濃厚な色彩の背景からも、テーマを自分なりに解釈して表現しようという意図が伝わってきます。指の関節をより意識して描くとさらに説得力のある作品となるでしょう。

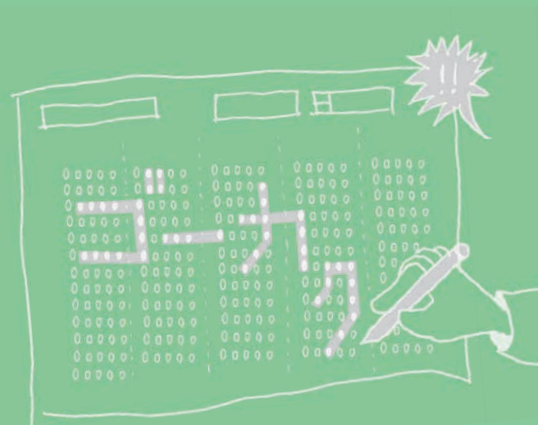
評価コメント

手鏡に顔が映った状況を想定し、マスクによって隠れた唇を落書きすることで、テーマに即した構図に工夫が見られる作品です。手鏡や顔の鮮やかな配色とグレーの背景との対比も目を惹きます。顔の部分では、ペインティングナイフで絵の具を丁寧に重ねており、みずみずしい表現が生み出されています。正面性が強い構図のため、光の方向や画面の左右の違い、顔の側面の奥行きを意識した描写が加わると表現の深みが増します。



教科科目

英語 / 国語 / 数学



2023年度出題概要 ※2024年度の出題概要は、「東北芸術工科大学 2024年度 学生募集要項」をご確認ください。

英語 試験時間 60分

出題範囲 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ
英語表現Ⅰ(筆記試験のみ)(リスニングテスト及びスピーキングテストは実施しない)

評価のポイント 英語の基本的理解力及び読解力

問題→P.58～P.65 問題解答→P.82

国語 試験時間 60分

出題範囲 国語総合(古文・漢文を除く)

評価のポイント 日本語の読解力及び日本語による表現力

問題→P.66～P.78 問題解答→P.83

数学 試験時間 60分

出題範囲 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B
空欄補充式(80点)と記述式(20点)による。数学Aについては「場合の数と確率」、「図形の性質」から1題を選択して解答する。数学Bについては「数列」、「ベクトル」から1題を選択して解答する。

評価のポイント 数学の基礎についての理解力

※数学において、基礎についての理解力に加えて、「思考力・判断力・表現力」を評価するために、過程を含めて記載を求める記述式問題を出題します。

問題→P.79～P.81 問題解答→P.84～P.86

C 次の(1)~(16)の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の1~4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) He showed no () of regret.
 1 touch 2 collection 3 pair 4 sign
- (2) Lions hunt () groups.
 1 down 2 in 3 above 4 beneath
- (3) Many tourists come to see the () festival every summer.
 1 potential 2 annual 3 rugged 4 convincing
- (4) () employee counts in this firm.
 1 All 2 Almost 3 Every 4 Most
- (5) That hotel can () up to one hundred guests.
 1 accommodate 2 decorate 3 sophisticate 4 communicate
- (6) "We will never () in to violence!" said the leader.
 1 take 2 vote 3 catch 4 give
- (7) The singer's latest song just () out yesterday.
 1 take 2 hit 3 run 4 came
- (8) You had () hurry to the ATM.
 1 should 2 good 3 better 4 must
- (9) Using a phone while driving () strictly prohibited.
 1 be 2 is 3 are 4 do
- (10) Patti accepted the offer of a business trip to Italy () any hesitation.
 1 without 2 onto 3 beside 4 aside
- (11) This plane is going to take off in a few minutes as ().
 1 invested 2 created 3 scheduled 4 engineered

英語

第1問 次のA~Dの各問いに答えなさい。(配点50)

A 次の(1)~(5)の発話に対する応答として最も適当なものを、下の1~5のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。ただし、同じものを二度以上使ってはならない。

- (1) It's so cold in here.
 (2) Are you hungry?
 (3) What are you here for?
 (4) Sorry, I couldn't catch you.
 (5) I went to Italy this winter.
- 1 I could eat a horse.
 2 So did my mother.
 3 Turn on the heater.
 4 I'm meeting someone.
 5 Let me repeat it.

B 次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。

(例) 1 - 3 - 2 - 4

- (1)
 1 Speak of the devil.
 2 Did you hear John won the scholarship?
 3 Really?
 4 Hi, congratulations!
- (2)
 1 I need you in the kitchen.
 2 Alright. Where's the knife?
 3 Peel some potatoes, will you?
 4 Sure. What do you want me to do?

Emi : Yes, that's right. It's a way to cut down (C) our energy usage to slow global warming. The government has been promoting it very strongly recently. They recommend the heating is set to keep the temperature at 20 degrees Celsius.

Dana : I think it's a great idea. People should dress appropriately for the weather.

Lily : I hate the winter. It's too cold for me. I can't believe they aren't going to turn up the heat.

Emi : Don't worry. There are many ways you can keep warm. The best way is to wear many layers of clothes. Lots of shops sell thermal underwear. These days fabric technology is so advanced that you can get really thin ones which keep you very warm.

Dana : Yes, it's also good to eat lots of hot food. Try to eat root vegetables, and add ginger. Drinking hot tea also helps.

Lily : Right. I'm going shopping for a thermos on my way home today. I guess we all need to do our bit to help the environment.

Emi : Another good way to warm up is to get off the train one stop early, and walk the rest of the way. That will warm you up and help improve your circulation*.

Dana : Also, if you take a hot bath at night and use a hot water bottle in your bed, you can stay warm until the morning, without using a heater. You'll not only help the environment but also save money.

注 *circulation 血流

(1) 文中の(①)に入れるのに最も適当なものを、下の 1~4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- 1 don't you
- 2 isn't it
- 3 doesn't it
- 4 aren't you

(2) 文中の(②)に入れるのに最も適当なものを、下の 1~4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- 1 It's prohibited.
- 2 May I be excused?
- 3 It may go away soon.
- 4 It's perfect for me.

(3) 文中の(③)に入れるのに最も適当なものを、下の 1~4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- 1 common
- 2 enough
- 3 opposite
- 4 same

(12) It takes hours by boat to the () island.
1 qualified 2 blunt 3 distant 4 nervous

(13) This job involves () writing and speaking skills in English.
1 also 2 both 3 for 4 either

(14) We have to () the garbage in our city.
1 separate 2 facilitate 3 participate 4 punctuate

(15) Can you teach my daughter () to ride a bicycle?
1 who 2 what 3 which 4 how

(16) The research () that people tend to become more creative after traveling.
1 show 2 shows 3 have shown 4 showing

D 下線部の発音が他の 3 つと異なるものを 1 つ選び、番号で答えなさい。

- (1) 1 ocean 2 tegach 3 creaky 4 cegase
- (2) 1 eyebrow 2 flow 3 crow 4 follow

第 2 問 次の A, B の各問いに答えなさい。(配点 50)

A 次の会話を読んで、以下の問いに答えなさい。

Environmentally-Friendly Society

Lily : Good morning! It sure is cold today. It's pretty chilly even in this room, (①) ? Has no one turned the heater on?

Dana : (②) I often find offices too warm in winter. My house is really cold. So, I tend to dress warmly and then I overheat when I go into work.

Lily : I hope they turn the heating up later on.

Emi : I don't think they will. This company is trying hard to comply with guidelines laid out (A) the government for "warm biz."

Lily : "Warm biz?" What does that mean?

Dana : Oh, I know! It's the (③) of "cool biz." I've heard (B) that.

(4) 文中の(A)~(C)に適切な語を入れるときの正しい組み合わせを、下の1~6のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- (A) - (B) - (C)
- 1 on - of - by
 - 2 on - by - of
 - 3 of - on - by
 - 4 of - by - on
 - 5 by - on - of
 - 6 by - of - on

(5) 次の[1],[2]の質問に対する答えを、それぞれ下の1~4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

[1] Which of the following statements is true?

- 1 Lily feels too warm to start her work.
- 2 Dana expects her company to switch on the heater.
- 3 Emi asked the company for the improvement in heating.
- 4 The government has specified the ideal temperature for the heating.

[2] Which of the following statements is false?

- 1 Emi suggests wearing clothes made of the latest fabrics.
- 2 Root vegetables were recommended as a way to keep warm.
- 3 Emi got off the train one stop early to go shopping.
- 4 Dana thinks that eco-friendly techniques save on expenses.

(6) 次の[1],[2]の英文において、それぞれ下の1~3の語を並べ替えて空欄を補い完成させるとき、()に入る語はどれか。番号で答えなさい。

- [1] Global warming is one of the most serious _____ () _____ planet.
 1 our 2 threats 3 facing
- [2] Walking and biking are good _____ () _____ greenhouse gases.
 1 to 2 reduce 3 ways

B 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

Secrets behind Japan's Three Cs

Throughout the COVID-19 pandemic, especially in the first two years, Japan managed to keep the number of infected people relatively low, effectively stopping the rapid spread of the virus. It saw health care systems overwhelmed in many other countries around the world as the death toll rose terrifyingly at the peak of the pandemic. What was the Japan's secret?

Was it the masks? They were seen from the beginning as essential in preventing the spread of the virus. Masks were not perfect but good enough to stop the health care system from being overloaded, and to keep as many people as possible safe until vaccinations and treatment became available. (①) there are pockets* of resistance in compliance* with vaccinations, mask compliance was almost 100 percent. The Japanese already had a cozy relationship with masks. (②) The polite thing to do if one has a cold in Japan is to wear a mask in order to keep your germs to yourself.

The key could be the clear and consistent advice given by the Japanese government. From the beginning of the pandemic the government knew it was likely spreading through droplets in the air. All signs were pointing in that direction, yet it remained unspoken in mainstream media. The government coined a term "Three Cs" or in Japanese "mitsu." People were asked to avoid the three Cs, which are closed spaces, crowded places, and close-contact settings; it was apt advice for an airborne virus. In fact, this became such a catchphrase that it was chosen for the kanji that most (③) up to 2020 in an annual selection decided by a survey taken by The Japan Kanji Aptitude Testing Foundation.

However, perhaps the most important thing was that the advice given by the government was followed by the majority of the population. No matter how appropriate the strategies were, none would have worked if it hadn't been for the cooperation of the Japanese public. There was no law enforcing lockdown or mask mandates in Japan. The government just requested people follow the three Cs, wear masks, and refrain from going out on unnecessary errands. This cooperation may be due to the power of peer pressure. ④ Peer pressure is the strong influence within a group to do the same as everyone else. "The nail that sticks out gets hammered down." This Japanese proverb illustrates how strong the peer pressure to conform in Japanese society can be. Indeed, this pressure to fit into the group is often cited as a negative part of Japanese culture that can make life hard.

Yet, it is not all bad, as the COVID-19 pandemic has shown, it is a powerful force to work as a group and respect the other members of society. Even though there are undoubtedly negative aspects to peer pressure, when it takes the form of cooperation and consideration for those in the group, it could be one reason why Japanese society is so harmonious and pleasant to live in.

注 *pockets 小集団 *compliance 順守

(1) 次の[1]~[3]の空欄に入れるのに最も適当な語または文を、それぞれ下の1~4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

[1] 文中の(①)に入れるのに最も適当なものを、下の1~4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 Because 2 When 3 Therefore 4 Although

[2] 文中の(②)に入れるのに最も適当な文を、下の1~4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 Every single person in Japan used to live with a mask on.
 2 It is against the law to take your mask off when you have a cold.
 3 Putting on a mask when going outside was no longer allowed.
 4 It is a fairly common sight in flu and allergy seasons.

[3] 文中の(③)に入れるのに最も適当なものを、下の1~4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 gave 2 faced 3 summed 4 looked

(2) 次の[4]~[7]の定義が示す単語を1~10の選択肢から選び、番号で答えなさい。

- [4] a job that you do that involves going somewhere to buy or deliver goods
 [5] happening or done in a very short period of time
 [6] to invent a new word or phrase
 [7] to behave in a way that most other people in your group behave

選択肢

- 1 consistent 2 airborne 3 conform 4 spread 5 errand
 6 coin 7 cozy 8 infected 9 rapid 10 appropriate

(3) 次の[8] [9]の質問に対する答えを、それぞれ下の1~4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

[8] Which of the following statements is true?

- 1 Everyone was happy to get vaccinated in Japan.
 2 Mask compliance was almost perfect because of a strict law.
 3 The kanji "mizu" represents the virus in 2020.
 4 One of the "Three Os" asks people to refrain from going to crowded places.

[9] Which of the following statements is false?

- 1 Masks seem to have worked effectively in Japan.
 2 Hospitals in other countries were not affected by the pandemic.
 3 Most Japanese people complied with the request to wear masks.
 4 Peer pressure in Japan is not often considered a good part of the culture.

(4) 次の[10]~[12]の英文において、それぞれ下の1~3の語を並べ替えて空欄を補い、完成させるとき、()に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[10] The government _____ () _____ wear a mask when meeting with someone.
 1 to 2 asked 3 people

[11] It's common to _____ () _____ masks in Japan.
 1 people 2 see 3 wearing

[12] Some people feel _____ () _____ peer pressure in society.
 1 of 2 uneasy 3 because

(5) 次に示した下線部④の英文を和訳しなさい。

④ Peer pressure is the strong influence within a group to do the same as everyone else.

(6) 次の問いに対して英語で答えなさい。

What recent news has impacted you the most? Why?

英語

第1問 次のA~Dの各問いに答えなさい。(配点50)

A 次の(1)~(6)の発話に対する応答として最も適当なものを、下の1~5のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。ただし、同じものを二度以上使ってはならない。

- (1) Whose wallet is this?
- (2) Are you ready to order?
- (3) Is this seat taken?
- (4) Please fill out the form.
- (5) Can I take some pictures?
- 1 Sorry, it's not allowed.
- 2 I'm expecting someone.
- 3 It's mine.
- 4 I need more time.
- 5 Can I borrow your pen?

B 次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。
(例) 1-3-2-4

- (1)
 - 1 How about going to the museum together?
 - 2 Do you have any plans for this spring break?
 - 3 That sounds like fun.
 - 4 No, nothing in particular.
- (2)
 - 1 Way to go!
 - 2 Thanks.
 - 3 How did you do on the last exam?
 - 4 I passed it.

1

C 次の(1)~(16)の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれの下の1~4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) This school has a lot of students who are () to build a career in art and design.
 - 1 keen 2 luck 3 comprehensive 4 stunned
- (2) Cindy always leans () when she's working.
 - 1 up 2 above 3 loose 4 forward
- (3) What () you here?
 - 1 brought 2 make 3 bought 4 taking
- (4) The painter released some works of art made in his most () years.
 - 1 productive 2 urban 3 youth 4 hot
- (5) Dr. William Turner made a final check on () patients for the day.
 - 1 he 2 him 3 himself 4 his
- (6) Please make sure that every window () before you leave.
 - 1 lock 2 is locked 3 are locked 4 locking
- (7) Mr. Harrison has been busy () because it is the end of the academic year.
 - 1 recently 2 since 3 so 4 for
- (8) If you place your order by three p.m., your items are guaranteed to arrive () one day.
 - 1 from 2 within 3 by 4 till
- (9) The chairs are placed () a row.
 - 1 on 2 from 3 in 4 with
- (10) The airplane was () because of the storm.
 - 1 condemned 2 cancel 3 essential 4 delayed
- (11) Please do not () onto the train.
 - 1 rush 2 hush 3 wash 4 brush
- (12) () you ever seen a pyramid in Egypt?
 - 1 Do 2 Are 3 Did 4 Have

2

(13) Do you know why Tom () home early today?

- 1 go 2 left 3 come 4 get

(14) The donation will go to the relief () for those affected by the hurricane.

- 1 security 2 money 3 fund 4 weather

(15) Thank you so much () coming to my place.

- 1 to 2 by 3 for 4 because

(16) She found a () photograph in the drawer.

- 1 thrilled 2 tranquil 3 deep 4 faded

D 下線部の発音が他の3つと異なるものを1つ選び、番号で答えなさい。

(1) 1 ruin 2 blize 3 muddy 4 eruel

(2) 1 what 2 lack 3 bat 4 apple

第2問 次のA～Bの各問いに答えなさい。(配点50)

A 次の会話文を読んで、以下の問いに答えなさい。

Emi : Hi, Sarah. You have a nice bag. Is it new?

Sarah : Well, kind of. It's new for me. I bought it in a second-hand store. I looked all over (A) the perfect bag. I must have gone to at least six shops!

Matt : Wow, you really went on a hunt, (1) you? I can't stand going shopping. I buy everything online.

Emi : Yes, me, too! *Pochiri!* It's so easy to spend money online. You have to be careful.

Matt : *Pochiri?* (2) Buying too much? Being a shopaholic?

Emi : "*Pochi*" is the word for the sound of pushing a button. "*Ru*" is added to make it a verb. So, it literally means "to push the button" and we all know that button is the "(3)" button.

Sarah : Oh, I see. I don't shop online very often. I prefer to see the things I want to buy in person.

Matt : That makes sense. But these days photos, videos, and reviews help make it easier to see what you are buying.

3

Sarah : Yeah, but it's better to support local shops. If we only buy online (B) big companies, it can have such a negative effect.

Emi : Really? In what way?

Sarah : Well, for one thing, smaller brick and mortar shops can't compete with the low prices that large online vendors sell (C). They have overheads*, such as rent, utilities, and staff. They will go out of business. Also, when you buy locally, you contribute to the taxes for that area. If we all buy from the major companies, the taxes won't reach where we live.

Emi : I see what you mean. But I think smaller businesses also have to sell online to stay competitive. The way people shop has changed. Although many people prefer to go to real shops and talk to the staff, the lower price tags and convenience are big incentives* to buy online. Everyone is busy, and with prices rising, people are looking for bargains.

Matt : I've noticed many small retailers selling online recently, too. It's the future.

注 *overheads 経費 *incentives 動機

(1) 文中の(1)に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 aren't 2 don't 3 didn't 4 haven't

(2) 文中の(2)に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 That sounds familiar.
2 What does that mean?
3 Can you say that again?
4 That can't be true.

(3) 文中の(3)に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 start 2 return 3 stop 4 buy

4

(4) 文中の(A)~(C)に適切な語を入れるときの正しい組み合わせを、下の 1~6 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | |
|-----|------|-----|------|------|
| (A) | - | (B) | - | (C) |
| 1 | at | - | for | from |
| 2 | at | - | from | for |
| 3 | for | - | at | from |
| 4 | for | - | from | at |
| 5 | from | - | at | for |
| 6 | from | - | for | at |

(5) 次の[1],[2]の質問に対する答えを、それぞれ下の 1~4 のうちから 1 つ選び、番号で答えなさい。

[1] Which of the following statements is true?

- Emi does not like to buy things online very much.
- Sarah searched all over the online stores to buy her bag.
- Matt thinks it is easy to shop online.
- All of them find it necessary to touch the actual items when shopping.

[2] Which of the following statements is false?

- Pochira* is a Japanese verb which means pressing a button.
- Emi thinks people still like to go to actual stores for shopping.
- One way to support your own area is to buy things locally.
- Matt predicts that all small stores will go out of business in the future.

(6) 次の[1],[2]の英文において、それぞれ下の 1~3 の語を並べ替えて空欄を補い完成させるとき、()に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[1] A shopaholic is a person _____ () _____ things he or she may not need.
 1 enjoys 2 who 3 buying

[2] Higher _____ () _____ inflation.
 1 fuel 2 prices 3 can

B 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

Home Sweet Home

An Englishman's home is his castle. This is a proverb which expresses that home is a place where you can shut out the world and feel safe and secure. It is a place where you are king and have full control of your environment. Homes are not only a place for meeting out our basic life needs but they are also essential for our emotional well-being, giving us a center from which we conduct our lives. We can relax and create our own worlds in them.

However, due to the rising cost of living, many young people today find it more and more difficult to buy a home, especially in larger cities. The Tiny House Movement, which has been gaining popularity in recent years, provides a more affordable way to buy a house. The Tiny House Movement is said to have begun in America in the 1970's, when artist Allan Wexler started experimenting with living in a small space. Over the decades it gradually became popular with architects and designers as a possible solution to many of the issues facing us in modern times. Tiny houses are more affordable (①) they use fewer materials to build and less resources to maintain making them more environmentally friendly. In recent years the movement has been spreading as people try to simplify their lives. They prefer to have fewer possessions and place more importance on experiences and spending time with family.

The Tiny House Movement is even gaining momentum* in Japan where city dwellers have perfected the art of living in a small space. Japan has the eleventh largest population in the world on a relatively small island. Around 70 percent of its land is mountains. (②) So, smaller living spaces are normal. In fact, the Japanese have turned living stylishly in a compact space into an art form of organization* and ingenuity*. By definition, a tiny house is one that has a floor space of less than 37 m². The average size of an apartment in Tokyo is around 65.9 m²; however, about 21 percent of apartments in Tokyo are less than 19.7 m². The Japanese government (③) a minimum of 25 m² per person, and 40 m² for a satisfying and healthy life.

Living in a space too small could have negative impacts on mental health, especially for those who feel that they have no other choice but to live in cramped conditions. This was highlighted during the COVID-19 pandemic lockdowns when people were suddenly required to stay home.

④ The lack of space to move and store necessary items caused a lot of stress. Regardless, the pandemic saw sales of smaller houses in America rise by 171 percent, although it seems that many of these were purchased as extra rooms to work from. Conversely, the rise in remote work in Japan has seen an increase in people moving to more affordable and spacious homes in rural areas. Even so, by all accounts the Tiny House Movement is still growing, as there really is no place like your own home, whatever size it may be.

注 *momentum 勢い *organization 整理 整理 *ingenuity 創意、器用さ

(1) 次の[1]~[3]の空欄に入れるのに最も適当な語または文を、それぞれ下の1~4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

[1] 文中の(①)に入れるのに最も適当なものを、下の1~4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 but 2 otherwise 3 although 4 because

[2] 文中の(②)に入れるのに最も適当な文を、下の1~4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 This means that land suitable for living on is limited.
 2 This includes areas which are covered with water.
 3 This is not the only place where people are allowed to build their houses.
 4 This enables Japanese people to live more freely than other countries.

[3] 文中の(③)に入れるのに最も適当なものを、下の1~4のうちから1つ選び、番号で答えなさい。

- 1 reconciles 2 reckons 3 recommends 4 resets

(2) 次の[4]~[7]の定義が示す単語を1~10の選択肢から選び、番号で答えなさい。

[4] unable to move properly because there is not enough space

[5] to make something less complicated

[6] a period of ten years

[7] to make something continue in the same way

選択肢

- 1 decade 2 modern 3 secure 4 cramped 5 recent
 6 definition 7 affordable 8 simplify 9 safe 10 maintain

(3) 次の[8],[9]の質問に対する答えを、それぞれ下の1~4のうちから1つずつ選び、番号で答えなさい。

[8] Which of the following statements is true?

- 1 Englishmen often live safely in their castles.
 2 Only young people can afford to live downtown.
 3 The Tiny House Movement first started in the United States.
 4 Smaller houses require special techniques to build and maintain.

[9] Which of the following statements is false?

- 1 The Tiny House Movement has not arrived in Japan yet.
 2 In Japan there is limited space to build houses.
 3 Over 20 percent of the people in Tokyo live in a smaller place than the recommended size.
 4 The lockdowns restricted people's activities within narrow limits.

(4) 次の[10]~[12]の英文において、それぞれ下の1~3の語を並べ替えて空欄を補い完成させるとき、()に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[10] The rent has been _____ () _____ the recent inflation.
 1 to 2 increasing 3 due

[11] Tiny houses provide _____ () _____ space to live healthily.
 1 with 2 enough 3 people

[12] Many of _____ () _____ in favor of The Tiny House Movement are minimalistists.

- 1 who 2 are 3 those

(5) 次に示した下線部④の英文を和訳しなさい。

④ The lack of space to move and store necessary items caused a lot of stress.

(6) 次の問いに対して英語で答えなさい。

Do you prefer to live in a large house or a small house? Why?

国語

問題 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

【A】「オーガニック」ということばの響きは、なぜかやさしく自然な感じがして気持ちがいい。オーガニックは「生命を有する」という意味の英語のオーガン（生命の器官）に由来する。日本語では、無機の対義語であり、有機的と訳されている。【a】オーガニック・デザインは、このことばの由来の通り生命を有する形、つまり生命の宿らない石やガラス、金属などの無機質の形やデザインに對峙する概念といつてもよさそうである。【b】アルミニウムやプラスチックなどの現代科学の成果として誕生した無機の材料を使つても、オーガニック・デザインとよばれる工業製品や生活用品が現実にはたくさん出回っているのではないか。鋳物でつくられたドアの把手、鋼鉄板の曲面で覆われた自動車、丸みを帯びたプラスチックのパソコンから新幹線の車体やハサミやコーヒークップまで、すべて曲線や曲面で覆われた形、これらも最近では、オーガニック・デザインと呼ばれている。

これに対し、人間の手が加わっていない山や川、森や樹木のような自然の形や、人間、動物、【c】アメーバのような原生動物の形を、何となく大まかにこれもまたオーガニックな形とよんでいるのだ。こうしてみるとオーガニックな形（フォルム）という概念は、見えてきたようだ。【d】オーガニック・フォルムとは生命の宿る動植物に象徴される形であり、直線や円のきつちりとした幾何学的形体ではなく、角がとれ丸みを帯びた柔らかな曲線の形をいう。【e】オーガニック・デザインとは、素材が天然・人工にかかわらず（I）を主としたデザインを指す。（中略）

【B】人類はこの地球上に誕生して以来、外敵から身を守り、より安全で快適な生活が送れるよう、ものづくりを通してさまざまな工夫を重ね、文明社会を築いてきた。この間、純粋に①ソウソウする喜びを視覚化したのが装飾や芸術である。前者は武器、居住のための家、土器や水がめなどの生活用品、身体を保護するための衣服などであり、②後者は絵画、彫刻であり、ものの表面を美しく飾るパターンや紋様などである。人間のつくりあげるこれらの形は、すべて人工の形なのだ。博物館で一堂に会した③デザイン品を眺めてみると、こうしたものづくりを通して、機能を生かしながら人間が次第に美しい形を求めはじめ、端正で④セレンとした形に進化させていく過程を読み取ることができる。またものの表面や外観を美化する装飾が同時に施されるようになってくる。

その時代の文化の形式を様式（スタイル）とよんでいるが、一般に文化が成熟すると装飾が華美となる。ついには装飾が過剰となり、形状の造形美よりも装飾の割合が増大し、全体のバランスが崩れ、その時代の様式美が⑤終を迎える。様式の歴史は装飾の歴史である、といわれる⑥所以でもある。人間がつくりだした人工の形が自然の形と決定的に異なるのは、形と装飾が一体化した形象であるということだ。それゆえ私たちがものを見るとき、その対象の形状だけを評価することは稀であり、形や色、パターンや模様などの装飾、それに素材や（E）テクスチャなどが一体となった造形全体の

印象を捉えるのである。そのため私たちは時折、華やかな装飾ゆえに形の美しさを見誤ってしまう傾向もあることを否めない。自然の造形にはこうした人為的な虚飾が皆無なだけ、私たちは心からその美だけを取り出して㉔タンノウでできるのである。

〔C〕時代を先取りした「オーガニック」というキーワードは、昨今の自然志向の社会的現象として、すっかり定着した観がある。「オーガニック」の和訳の「有機」まで含めると、オーガニック現象の裾野は広い。「オーガニック」から受ける印象は、根底に(基)天地開闢以来、人類が誕生した無垢のバランス感覚に対して、人間の生への執着があるような気がしてならない。大自然のサイクルの中に人間と自然が調和しながら生き長らえていくという、きわめて原始的であるが、生態系の中の生物としての人間本来の生き方が、そこに見えてくるのである。人間は、狩猟や木の実などを採取しながら生活していた原始的な採取経済から、牧畜・㉕ノウニヤの経済を経て、今日に至っている。つまり人間は自然から直接・間接的に受ける恩恵によって生命を㉖イジし、代々子孫を増やしてきたのである。人間の死は、再びこの母なる大地に還り土となることを意味する。人間にとつて自然は生を育む大木であり、一方、自然にとつて人間は、森の木や動物と何ら変わることなく自然界を構成する(Ⅱ)に過ぎない一要素なのである。

私は東京で、自然とはほとんど縁のない生活を送りながら社会生活を続けてきた。都会生活と異なり、ここ筑波での暮らしは庭の木々の様子、鳴く鳥の声により肌で季節を感じ取る。天候や季節によつて山並の色や印象が(Ⅲ)する、神棲む山といわれる筑波山に、また心を新たにす。私の書斎の窓からはクスギの木を通して集落の墓地が見える。犬の散歩のたびに声をかけあっていた老人六人も今はその墓の中である。この地には、今では教少ない土葬の風習が残っている。これまで違和感をもっていたこの土葬と近しく接し、私は人間がこの大自然の砂の一粒に過ぎないことを、改めて思い知らされた。この生者必滅の理が(基)輪廻の思想を生み、人々は自然への感謝の念を強くしたのである。

近年の工業化社会の繁栄によつて科学信仰に傾き、人口は都会に集中した。人々の生活は豊かとなり、その結果、自然を次第に顧みなくなつてしまった。(Ⅳ)の果て自然は破壊され、異常気象を引き起こし、地球の温暖化現象を招いた。人々はようやく目を覚まし、自然への関心を深め、地球環境の保全を叫びはじめたのである。「オーガニック」への高まりは、こうした自然への回帰の思潮が社会的背景にあるからと考えられる。このように人間は元来、大自然の一部にすぎないという自然主義的な倫理観を(基)もつていたのである。それゆえ有史以来の美術や装飾の歴史を見ても、美の原点が自然にあり、人々が自然の中に心の安らぎや調和を見いだしていたことは自明の理であろう。「オーガニック・デザイン」の原点は、ここにあるのではないだろうか。柔らかな曲線で包み込まれた形は、自然の営みに逆らうことなくつくりあげられた形であるがために、人々に安らぎを与え、美しいと感じさせるのではないだろうか。

〔D〕日本文化は西欧諸国の文化と異なり、元来自然の造形と切つても切れない際立った関係にある。

十九世紀末、西欧に衝撃的な影響を与えた(注4)ジャポニスムの造形原理は、日本人が四季それぞれの豊かな自然の形や色から学んだ自然観に基づく美学であり、まさしくオーガニック・デザインの原点であつたのである。キリスト教がイエスなどの聖者をモチーフにし、その後も貴族がスポンサーとなつて肖像画を描かせたという面はあつたものの、十九世紀にはすでに合理主義が西欧社会を覆い、人間至上主義が文化・芸術の思潮となつていた。したがつて西欧では芸術のモチーフは、あくまで人間を主体とした表現である。そこでは自然はあくまで従属的な存在であり、装飾のモチーフとしては多用されているが、表現の主體的なモチーフとなりえなかつたのである。

これに対し日本美術では、雪月花、花鳥風月あるいは山川草木、日月星辰といわれるように美の対象は、すべて四季折々の自然が醸す(注5)微妙な風景の表情であり、主役は人間ではなかつたのである。日本人にとっての美は、自然が作る広大無辺の形や色の宇宙に人間が(注6)ユウユウし一体となることへの希求がすべてなのである。日本独特の文学である俳句の季語や和歌の自然を(注7)メタファーとした傾愴の詩は、日本人の美意識の表象であり、やはり自然はあくまで客体でなく主体なのである。ジャポニスムが衝撃を与えた最大の理由は、この日本人の自然観なのであるが、このきっかけとなつたのは幕末から明治にかけ大量に海を渡つた日本の浮世絵の存在である。

西洋人の(注8)オリエンタリズムを象徴する白磁や青磁への憧れは、十七世紀、中国文化への憧憬として西欧に(注9)シノズリーという中国文化の流行を引き起こしたが、この陶磁器を通して日本の伊万里が注目を浴びた。(注10)サミュエル・ビングが中国や日本の書画骨董を扱う店、「アール・ヌーヴオー」をパリのプロバンス街に開店したのは一八九五年であるが、これがきっかけとなつて十九世紀末フランスを中心としてアール・ヌーヴオーという装飾美術が流行した。ビングが最初に日本の美術に触発されたのは、伊万里焼をひとつひとつ包んでいた和紙に刷られた浮世絵だつたと述懐している。大量の浮世絵のモチーフは美人画、役者絵から北斎や広重の風景画など多彩な表現であつたが、ビングが日本美術に(注11)グイートウした理由のひとつに日本人の自然観がある。西洋では、花は聖母マリアの純潔を象徴する百合と主君への忠誠と情熱を象徴する薔薇であり、その他の花々は美の対象となりえなかつた。これに対し日本美術では、名もない野の草花や秋草、昆虫や蛙などの小動物が堂々と表現のモチーフとして登場してくるのである。この日本人の自然に対する限りない敬愛の念とも思える描写は、西洋人に欠けていた自然に対する姿勢を認識させる契機となつた。やがて訪れるアール・ヌーヴオーの美学は自然讃歌であり、エミール・ガレのガラス工芸の主役は蛾、蝶などの昆虫や鯉、蟹、雀などの小動物、藤、菖蒲、竹、梅から野草まで、まさに純日本風のモチーフであつた。

(三井秀樹『「オーガニック・デザイン」による。改変あり。)

【語注】

- 注1：テクスチエア ― 物の表面に触れた際の質感、感觸や外観のこと。
- 注2：天地開闢以来 ― 天地が初めて作られてから今まで。この世が出来てから現在に至るまで。
- 注3：輪廻 ― 生物が生まれては死に、また他の世界に生まれ迷うことを、いつまでも繰り返すことを表す仏教用語。
- 注4：ジャポニスム ― 十九世紀後半にヨーロッパで流行した日本趣味のこと。

注5：オリエンタリズム — 東方趣味、東洋趣味ともいわれ、「オリエント世界（西アジア）へのあこがれに根ざす。西欧近代における文学・芸術上の風潮。

注6：シノワズリー — ヨーロッパで流行した中国趣味の芸術様式で、中国語を意味するフランス語「シノリ」に由来する。

注7：サミュエル・ビング — (一八二八〜一九〇五)パリで美術商を営んだユダヤ系ドイツ人で、一八七一年にフランスに帰化。日本の美術・芸術を欧米諸国に広く紹介し、「アール・ヌーヴオー」の発展に寄与したことで知られる。

問1 波線部①〜⑩のカタを漢字に改め、漢字は読みを答えよ。

問2 空欄 a e に入る言葉の組み合わせとして適当なものを次から選び記号で答えよ。

- | | | | | | |
|---|-----------|----------|----------|-----------|-----------|
| ア | a (しかし) | b (それゆえ) | c (つまり) | d (したがって) | e (あるいは) |
| イ | a (つまり) | b (しかし) | c (あるいは) | d (したがって) | e (それゆえ) |
| ウ | a (したがって) | b (つまり) | c (それゆえ) | d (しかし) | e (あるいは) |
| エ | a (つまり) | b (しかし) | c (それゆえ) | d (あるいは) | e (したがって) |
| オ | a (したがって) | b (しかし) | c (あるいは) | d (つまり) | e (それゆえ) |

問3 (I) に入る言葉を A の文中から五文字で抜き出せ。

問4 (II) と (IV) について、次の設問に答えよ。

① (II) には、「多数の中のごく一部分」という意味を持つ故事成語が入る。次から適当なものを一つ選び記号で答えよ。

- ア 杞憂 イ 群言象を評す ウ 画竜点睛 エ 晴天の霹靂 オ 九牛の一毛

② (III) には、「いろいろさまざまに変化すること」を表す四字熟語が入る。適切な四字熟語を考えて答えよ。

③ 「いろいろな事をした最後に行き着いた好ましくない結果」をあらわす慣用句に「(IV) の果て」という言葉がある。(IV) に入る漢字二文字を答え、この慣用句を完成させよ。

問5 B の文中の二重波線部⑦「後者」とは何を指すか、文中の言葉を抜き出し、五文字で答えよ。

問6 「自然」と「人間」との関係において、作者は「人間」は本来どのような生き方をしてきたと考えているのか、C の文中の言葉を使い三十五字以内で答えよ。

問7. Dの文中の二重傍線①「メタファー」とは、「隠喩、暗喩」ともいい、修辞技法の一つで「あか
らさまな比喩表現を使わない」とのことである。Cの文中からメタファーの使われている文を
一つ抜き出し、それぞれはじめの四文字で答えよ。

問8. Dの文で語られる「日本人の自然観」とはどのようなものであるか、文中の言葉を用いて五〇字以内
で説明せよ。

問9. 作者が「オーガニック・デザイン」の原点と考えているものを、文中から一つ抜き出し、それ
ぞれ四〇字以内で答えよ。

問10. 「角がとれ丸みを帯びた柔らかな曲線」で構成される「オーガニック・デザイン」が、どうし
て人の心を引き付けるのか、その理由が端的に表現された箇所を「くから。」に続くように文中から抜
き出し、最初と最後の五文字を答えよ。

問11. 次に示す文の中から、作者の考えとして正しいものを一つ選び記号で答えよ。

- (1) オーガニック・デザインは、そのことばの由来する通り、生命を有する形について述べた概念で
あるため、生命の宿らない石やガラス、金属など無機質の形やデザインとは、完全に対立す
る概念であると言えることができる。
- (2) 私たちはものを見るとき、その対象の形状だけで評価することはめつたになく、形や色、パター
ンや模様などの装飾、素材やものの質感などが一体となった造形全体の印象として捉えるた
め、単に装飾の美しさのみに惑わされて形の美しさを見誤ることはほとんどない。
- (3) 様式と呼ばれる文化の形式は、その時代の文化の成熟とともに、装飾の割合が増して過剰となっ
ていき、やがて形状の造形美を上回ることで、全体のバランスが崩れることによりつて終わり
を迎えるという歴史をたどることが一般的である。
- (4) 「オーガニック」という言葉は、自然破壊や異常気象、地球の温暖化現象といった社会的背景か
ら生まれたものであり、自然回帰の思潮とともに、人々の間に定着したものであるため、時代を
先取りしたキーワードとなっている。
- (5) 十九世紀末、フランスを中心として流行した「アール・ヌーヴオー」と呼ばれる装飾美術は、
西欧社会の持つ「合理主義」や「人間至上主義」が、日本人の元来持ち続けてきた「自然主
義」的美意識と対立する形で発展を遂げたものである。

国語

問題 二十一世紀に入つて芸術の世界も大きく様変わりしようとしている。従来の絵画、彫刻、工芸のような物を対象とした造形物の制作ばかりでなく、ワークショップやパフォーマンスなど参加型の行動そのものも芸術表現とみなされるようになってきた。次の[A]・[B]二つの文章を読んで後の問に答えよ。

[A] 芸術は、創造性によつて過去と未来をつなぐ活動であり、現在残されている芸術の多くは、作品として物自身によつて過去から未来へと保存されてきた。背景となる文化的な価値観が、その物自体を大切に保管してきたのだ。物を保管することで、その表面や内面に込められた技巧や完成度を通して、その背景ある文化的な価値観を保存しようとしてきたのだ。まず、物はその素材の希少価値によつて価値を持ち、さらに技巧によつて評価は明確化される。誰もが持てるものではないということがわかる必要があるのだ。その上に「造形性」という視点が持ち込まれた。造形性の基礎は伝統の中の美ということであり、文化的な背景が色濃く出ているものだ。それは本来技巧から発したもので、盛り込めるすべての記号を盛り込んだ、微に入り（ ㉠ ）を穿つた装飾であり、ほとんど加工技術の極限にまでいつているものもある。さらにそれらの形にはすべて記号的な意味が込められていたのだ。そこには常識を越えた技巧と先端的なメッセージ性によつて、未来へまでも自らの力を及ぼさんとした過去の権力者の姿を見ることができると。それらは、それ以前にはまったく「見たこともないモノ」であつたはずであり、時として、それはその時代の常識をA**逆撫**するものであつたはずだ。「見ると目がつぶれる」という反応さえあつたはずだ。

現在一般的に言われる美術の価値基準である「造形性」という概念には、こころよさ、整理整頓、身体との親和性、視覚的美といった基準が含まれている。これは、逆に現代の文化を形作っている背景となる価値観を反映しているのだといえる。これは現代の美術芸術史という視点から作られたもので、こうした「造形性」という概念には、未来に向けた創造性といった視点よりも、現時点からとらえ直された過去への評価という視点が見え隠れする。例えば「六〇年代のジャズ」は、その当時「こんな騒々しい音なんて音楽じゃない」といわれていたものだが、現在の私たちにとつてはすでにスタンダードとなつており、およそ「こころよいもの」の範疇はんごうに分類されている。その意味で、「こころよさ」という美意識の範疇に入っているものを、私たちは警戒しなくてはならない。㉠**こうした常識がもつともわずらわしいのであつて、常識で対象を判断しないという、対象を（ ㉡ ）した視点を持つ必要がある。**こうした常識は、過去を現在とする評価基準から発していることを頭に入れておく必要があるだろう。

これに対して、表現という言葉は、むしろ現在性にB**イキ**した行為である。表現をすること、発信をすることは、自己主張であり、今現在生きている自分との密接な関係があつて初めて始まるものである。なぜなら誰もその時の現在を生きているのだから、残された過去の作品から読みとることのできる作られた時点における現在性を、表現という視点でとらえてみたいのだ。素材性に目をくらませることなく、表層のシンボルや記号に振り回されることなく、それをこつこつ作る無名の作り手

の内面が、物を通して見えたときに、われわれは深く感動する。それは例えば未完成の部分、失敗を修正した部分、そんなところに作り手の呼吸を見ることができることがある。過去が現在にあざやかに浮かび上がるというのはこういうことを言うのだ。これは造形性のやぶれに注目するということかもしれない。つまり、^② すぐれた工芸品とは、完全な匿名性の中にこそあるはずで、そこにこうした個人の内的なC パズロ を読みとろうとすることは、作り手にとってはもつとも避けて欲しいことだろう。当然ながら、こうした視点は本人にとっては受け入れがたいものであるだろう。しかし、何かものを作れば、つまり「それ」を現実の世界に出現させてしまえば、それは表現として読みとられる可能性があるものであり、表現することは、結局は自分自身を見ることだから、それが恐ろしくは何もできないことになる。

ここで、社会におけるありとある活動は社会に対する表現であると考えてみよう。コーヒーの豆を育てること、瀬戸物のコップを作ること、テーブルクロスを作ること、これらが一体となって現在が表現されてゆくわけだが、例えば、^(注) ストリート・グラフィティのように、それが、他者にとってまったく価値のないものである可能性もある。特にそれが ^(注) 自己撞着 ^(注) を起こしている時には、それは単なる自慰的行為となるわけで、表現することの大半は表現者自身のための「なぐさめ」と考えた方がいいかもしれない。必ずしもこちよいとは限らないもの、興ゆかしさといったものとはほど遠いもの、そういったものに表現は満ちあふれていることになる。しかし、それが他者に受け入れがたいものであればあるほど、それには十分な意味と理由があるといえるだろう。これが表現行為の重要な機能的側面なのである。

^③ 阪神大震災の後は、テレビで、ある心理学者が「子供達に是非絵を描かせるように」と指導していた。彼の主張は、絵を描くという行為は、震災にあつた子供達の中にいつまでも未消化なままで存在しているであろう、個別の地震体験を D 昇華 させるために役に立つということであつた。子供達は、自分の中にあるうまく言語化できていない超越的な体験を、ほんとうに絵にすることなどできるのだろうか。さらにここで気になることは、こうした授業を展開した先生達が、子供達の描いた絵を前にして、いつもどおりにこれらの絵を評価してしまうのではないかということだ。「山田くん、細かいところまでうまく描けたね」、鈴木くん、この自動車もうちよつと大きく描いてみたらどうか」といった描き出すための努力や技巧を評価してしまうのではないかということだ。個々の子供たちの描いた絵は、彼らの超越的な体験を ^③ () させるために描かれたものであつて、それを技巧で見せてしまつてはまずい。これは外側の人間が評価できるものではない。先生は、描かれたすべての作品に異敬の念を持つて、子供達の主張に、均等に耳を傾ける必要がある。

表現することは自分を知ることであると同時に、表現されたものは他人に自分を知らせる行為なのだ。^④ ここで、「理解できない」という状態ほど大切なものはない。この理解できない距離についてあらためて考えてみる必要があるだろう。まずは、こうした表現することの原点に帰る必要がある。作り出すものに客観性を与え、表現を通して自己を ^④ () してゆくには、どうしたらいいのか。作られたものが、誰もが共通に持っている問題として共有されることができれば、それは他者にとつても意義のあるものになるだろう。その時に初めて未来を垣間見ることができるといえるのだ。そのためには現在を形作っている背景についての認識がなくてはならず、自己を照射する鍵になる対象物が必

要になる。その上で自分の立っている場所を築く必要があるだろう。そうした域に到達したものが、結局現在までも残され芸術として保存されてきたのだと考えたい。しかし、それがひとつの技芸としてのルーチンワークになってしまい、見る者との間に予定調和が生まれてしまえば、それらは、ここちよさの中へと入り込むこととなり、本来の力や意味が埋没してしまうことになるだろう。

B 成果物としてのモノから解放された芸術の進む道は、関係を組織していく^(註4) アクティビティの中にしかないだろう。素材(マテリアル)を物質と考えるのではなく、関係性を形作る^F **バイタイ**としてとらえ、有機的な運動態を組織することをめざす。そのことの中に新たな創造性の生まれるきっかけがある。ここでは、いかにモノから解放された事柄だけで創造性を紡ぎだしていくかを考えてみたい。

「こうすると、こうなる」的な作品。つまり^(註4) リテラルな作品というものは、観客を一つの^(註5) コードで限定している。それは常にある意味のゲームに参加することを強要することから始まる。最低限「そこにある場や装置に^F **関わる**事によってでしか何がみえてこない」というコード。少なくともこのゲームに参加しない人にとっては、何も感じ得ないし、見えてこない、体験できない。このような^(註5) メディアアートのイニシエーション(通過儀礼)を行わなければアートの未来が見えてないのであれば、参加しないものにとつて、そのようなアートと永遠に接することができないことになる。ここには見えない排除のヒエラルキーがある。あるいはそれを文化的差別という言い方もできるかもしれないし、常識の権力性という言い方もできるだろう。自分の想定するコミュニケーションがいつでもどこでも可能であるとする。しかしそれは常識の運用に^G **長けている**ため、逆にそれらに縛られている状況でもある。常識が常に暗黙の裡に排除している空間の再現と関係の作り直しを求める必要があるのではないだろうか。常識の及ばず「権力作用」を問い直すことが急務のように思う。そこであくまでも恣意的な手続きを越えて、より^(註7) インタラクティブなものになるためには、^(註5) **常識の** ^(註6) **モノローグ性を相対化するための実践としての裏切りが必要な気がする。**

いわゆるインタラクティブの^(註6) **醍醐味**は、ゲームそのもののインタラプト(中止)まで含めたものである。つまり関係を遮断することもありえる。あえて手続きを無効にするということも含めたシステム。システム内に自己破壊装置を持ち、ゲームオーバーが最終的にゲームの破壊そのものになってしまう。一回しかあり得ないゲームの中でしか創造的な物事に^(註6) **係わる**緊張感が生まれる素地はないような気がする。

⑤

社会の価値観が多様化してきた現在、表現の世界においても様々な試みが行われている。このことを踏まえて、ここでの創造的行為を単なる個人の表現に吸収しないで、社会との関係性のなかで成立するものとして考える。いわば、個人に収束されない芸術の指向性を新たな創造的実践としてとらえるところから創造という概念を深め、広げていく道筋が見えてくるような気がする。社会の中にいる個人の表現を他者としての個人ではなく、その総体としての社会に投げ返すことで、作品に日常性の批判を伴う表現の意味付けが加わる。

作品と呼ばれるものをオブジェ(物・物体)としての造形物から、^(註9) インスタレーション、パフォーマンスなどの環境空間、身体表現、あるいはデジタルシステム空間などを含む創造行為全体が

ら抽出されるものの総体として位置付けたい。またそのための作品制作行為は、その「**手段**」可変的であるわけだから、その制作プロセスによって結果は大きく違ってくるだろう。だとすると、結果以上にその過程が、最終的な形を左右する大きな鍵を握っているとも言える。あるいはプロセスを把握することによって、結果に至らなくてもその行為性そのものの作品的価値はあるのではないだろうか。作品制作と言わないでプロジェクトと言うのは、表現者が何かを「**企て**」、社会に投げ返していく総体としてのプロセスをコーディネートする事が新たな表現者の形を形成することに繋がるということである。作品が生成されるプロセス、そのための（注9）オーガナイズを含む制作行為そのものの総称をプロジェクトと「**称する**」。これは、作品というものを固定したカテゴリーの中で考えるのではなく、つねに可変的な運動態としてとらえることである。

（△ △ 共に東京芸術大学先端芸術表現科編『先端芸術宣言！』による。一部改変あり。）

【語注】

- 注1：ストリート・グラフィティ — スプレーなどを使い、町の建物の壁面などに描かれた作者不詳の図像。
- 注2：自己擁護 — 自分自身の言動につじつまが合っていないこと。
- 注3：アクティビティ — 活動、作業手順のこと。
- 注4：リテラルな作品 — ここでは、見たまま以上の何物でもないと言われる作品のこと。
- 注5：コード — 慣例や規範のこと。
- 注6：メディアアート — コンピュータなどの新しい技術を積極的に使用してゆこうとする美術。
- 注7：インタラクティブ — お互いに作用しあうさま。
- 注8：モノロク — 演劇で登場人物が相手なしで心中の思いなどをしゃべる台詞。
- 注9：インスタレーション — 展示空間を含めた全体を作品とし、観客がその「場」において体験できる芸術作品のこと。
- 注10：オーガナイズ — 計画することや組織化すること。

問1. 次の各小問、Ⅰ～Ⅴに答えよ。

- Ⅰ 波線部B「イキョ」・C「ハツロ」・E「バイタイ」・G「長けて」・H「ツド」・I「企て」のカナを漢字に改め、漢字は読みを答えよ。
- Ⅱ (①) に入る漢字一文字を答えよ。
- Ⅲ (②) ・ (③) ・ (④) に入る言葉を、それぞれ次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。ただし一度用いた選択肢は繰り返し使わないこと。
ア 客体化 イ 主体化 ウ 相対化 エ 絶対化 オ 外在化 カ 内在化
- Ⅳ 波線部A「逆撫でする」・D「昇華」の文中の意味として最も適当なものを、それぞれ次の

選択肢から一つ選び記号で答えよ。

A 「逆撫でする」

- ア 反感をあおり立てる イ 社会の良識に逆行する ウ 理解に支障をきたす
- エ 不快な刺激を与える オ 予想を超えて圧倒する

D 「昇華」

- ア 心の中で納得させること イ 抽象化して薄めること
- ウ 経験の本質が見えてくること エ 内容を強固にすること
- オ 高い次元へ発展させること

V 波線部 F「関わる」・J「称する」と異なる意味を持つものをそれぞれ次の選択肢から一つ選び記号で答えよ。

F 「関わる」

- ア 関モン イ 関ヨ ウ 関スウ エ ソウ関 オ 関テ

J 「称する」

- ア 称ゴウ イ 称サン ウ ニン称 エ 称ミヨウ オ ギ称

問2 傍線部①「こうした常識がもつともわずらわしい」と筆者が言う理由として最も適当なものを次から一つ選び記号で答えよ。

- ア 優れた造形性には当時の最先端の技巧とメッセージが駆使されており、常識をくつがえすような面があるにもかかわらず、当時の価値基準の一つの要素にすぎない、ここちよさの面だけが採用されてしまっているから。
- イ ここちよさという美的範疇に入っているものを警戒するということは、過去の美術芸術史の視点からとらえようとするのであつて、現代のスタンダードから逸脱し、過去の伝統美へ回帰する見方になつてしまふから。
- ウ 過去を現在とする評価基準が常識化すると、現代の文化を形作っている背景と過去との境界があいまいになり、過去と未来をつなぐ活動であるはずの芸術の創造性が方向を見失い、混乱をきたしてしまふから。
- エ 現在価値を持つとされる造形物は過去に制作された伝統的な美を有するものばかりで、現在から見た価値や表現性は無視されてしまい、未来に向けた新しい作品を創ろうとする機会が阻害されてしまふから。
- オ 作品に対する評価は現在の価値基準によるものであつて、制作当時の評価とは異なるものであるにもかかわらず、作品がもともと高い芸術性を持っていたかのようにみなされ、価値が固定化されてしまふから。

問3 傍線部②「すぐれた工芸品とは、完全な匿名性の中にこそある」とはどういうことか。六〇字以上七〇字以内で分かりやすく説明せよ。

問4 傍線部③「阪神大震災の後に」以下に述べられている子供達に絵を描かせる例は、筆者のどう

いう考えを表すために挙げられたのか。「超越的な体験」という言葉を用いて六〇字以上七〇字以内で分かりやすく説明せよ。

問5. 傍線部④「ここでは、『理解できない』という状態ほど大切なものはない」とする根拠をBの文章から次のようにまとめた。「①」～「⑥」に入る言葉を指定文字数に従って、Bの文中から抜き出せ。

芸術の新たな創造性は、社会との「①三文字」の中で成立するが、ある種の芸術作品や、その作品の制作現場に関わらない人にとっては、作品はまったく無縁のものになってしまう。制作者や関係者にとって常識であることが、一般の人々にとっては理解できないことであり、大多数の人々はその作品から「②二文字」されてしまうのである。いわば作品が常識という「③二文字」を持ち、一種の「④五文字」を生み出すことになる。制作者はそのことに無自覚で、制作にあたってはあくまでも「⑤三文字」であるため、既成の固定化した関係を遮断し、排他的な「⑥六文字」を築き出すには、他者の「理解できない」という反応や状況に真摯に向き合わなければならないのである。

問6. 傍線部⑥「常識のモノローグ性を相対化するための実践としての裏切り」とはどのようなことが、その説明として最も適当なものを次から一つ選び記号で答えよ。

- ア 現代の芸術の世界においては鑑賞者は一部の人間に限られ、制作者と狭いコミュニケーションを通じた独特の社会を形成してその中に安住し新鮮度を失ってしまうので、制作者は新たに異質な人々との接触を図り、今までとは別の芸術的集団を作つてゆこうとすること。
- イ 今までの芸術作品は制作者本人の意図が尊重され作品の価値を左右してきたが、こうした一方的な支配性を排除し鑑賞者と制作者との双方向的な関係を作り直してゆくために表現行為からいったん制作者個人を退け、関係性そのものを表現とみなしてゆこうとすること。
- ウ 観客が作品を鑑賞する際に、作品の持つ価値や鑑賞法が決定され常識化してしまうと、観客も制作者も逆にその常識から一方的に束縛されるようになるため、固定化された常識をいったん捨て去つて、全く新たな観点から作品や制作をとらえ直してゆこうとすること。
- エ 作品の制作者と鑑賞者を結んでいるコードは常識化すると美術芸術史上の一つの価値観として定まってしまう、作品の創造に必要な緊張感が失われてしまうので、制作者と鑑賞者の関係をいったん断ち切り、作品を多様な社会に還元し新しく意味付けようとする。こと。
- オ 造形物を作品とみなした場合、作品を理解するには価値基準という通過儀礼を経ることが常識化し、鑑賞者が一方的に限定されて芸術の将来性を狭めてしまうため、作品から造形性を奪い、社会全員の参加が表現となるような新しい芸術を作り出してゆこうとすること。

問7. に入る文として最も適当なものを次から一つ選び記号で答えよ。

- ア 誰もが同じことの繰り返しに飽きているはずであるが、最初にゲームの中止を言い出す勇気ときっかけはなかなか訪れない。
- イ 我々はあまりにも簡単にすべてをリセットしてしまうことからくる日々の凡庸さに慣れてしまっているのかもしれない。
- ウ ゲームの破壊が観客との関係で成り立つ現代芸術の終焉を意味するものではなく、新たな観客を獲得すればよいのである。
- エ リテラルな作品は参加するための通過儀礼を経なければいつでも中止できる平凡なゲームになっているのかもしれない。
- オ 多様化する価値観に対応できる柔軟な関係を作り直すことが、関係を遮断することよりも有効な場合があるはずである。

問8. の内容をまとめた次の文章を読んで後の設問に答えよ。

の文章は共に芸術の新しい創造性と、これからの表現のあり方を考察したものである。

一つの文章の「共通点」は共に、従来のように素材を卓越した技巧によって造形し、成果物として保存された作品を芸術表現とは考えず、 と考える。

ただし、「相違点」として、

は、表現とは他者に自分を知らせる行為であるが、自己と自己を取り巻く現実を客観的に見つめ直すことが必要で、他者に容易に受け入れられる常識的な表現は予定調和的な作品を生み出し、単なる技芸に墮してしまふ、と述べている。

これに対し、

は、 と述べており、 の論を 。

設問1 に入る文として最も適当なものを次から一つ選び記号で答えよ。

- ア 表現は社会との関係の中で生まれ、誰もが参加できる開かれた芸術行為であり、万人にとって受け入れられることが前提になっている
- イ 表現は社会に対する自己主張であり、人によっては無意味な場合もあるが、価値観が多様化した現在においては必然的な結果である
- ウ 表現は現実の社会との関係の中でとらえられ評価されるもので、背景となる社会についての認識や批判なしには成り立たないものである
- エ 表現はあくまで現在に根ざした行為であり、社会に投げ返すことで誰もが共有している問題を抽出し、日常性への批判を伴うものである
- オ 表現は過去と未来をつなぐ現在を足がかりにした創造的な活動であり、常識化した古い美術芸術史の価値観を排除するためのものである

設問Ⅱ に入る文として最も適当なものを次から一つ選び記号で答えよ。

- ア 表現は社会との新しい関係を組織してゆく運動そのものであり、個人、制作、作品という旧来のカテゴリーの枠を破ろうとする革新的な社会行為である
- イ 表現とは社会に向けられた奉仕活動であるため、表現を制作者と鑑賞者との間に結ばれた狭い関係から解放し、社会全体に投げ返すことが必要である
- ウ 表現の試みとして作品の領域を生活空間や身体にまで広げることで、制作者は鑑賞者と社会との関係を作り上げるための企画調整の役割を担う存在となる
- エ 表現するという行為そのもの、または行為のプロセスが重要であり、造形物という具体性から運動態という抽象性に作品表現は進化すべきである
- オ 表現を個人的なものと考えず、個人を含む社会全体の中で創成されたものにとらえて、完成された作品よりもその制作プロセス自体を重視すべきである

設問Ⅲ に入る文として最も適当なものを次から一つ選び記号で答えよ。

- ア 一歩進めて、モノから解放された新たな創造性を具体的に示している
- イ 別の角度から見直し、常識化した価値観のもたらす弊害を述べている
- ウ 一部補足し、現在行われている様々な表現の試みを紹介している
- エ 引用しながら、個性の表現の限界を示し新しい芸術観を提案している
- オ いったん否定し、従来とは一線を画した新しい創作法を促している

数学

第1問, 第4問は必答問題である。第2問, 第3問はそれぞれについて1問を選択する問題である。(第1問~第3問の配点は80, 第4問の配点は20)

第1問(必答問題) 次の各問の□に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問1 次の式を計算せよ。ただし, (4)は分母を有理化せよ。

(1) $\sqrt{0.0169} = \boxed{\text{ア}}$

(2) $\sqrt{32} - \sqrt{8} - \sqrt{18} = \boxed{\text{イ}}$

(3) $(-a^2b)^2(-3ab^3) = \boxed{\text{ウ}}$

(4) $\frac{1-\sqrt{2}+\sqrt{3}}{1+\sqrt{2}-\sqrt{3}} = \boxed{\text{エ}}$

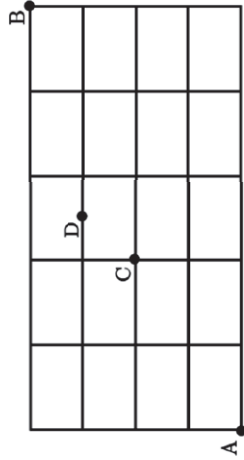
問2 2次関数 $y = x^2 - 4x + 2$ ($-2 \leq x \leq 5$) の最大値は□, 最小値は□である。

問3 $\triangle ABC$ において, $A = 135^\circ$, $B = 15^\circ$, $BC = 6$ のとき, $AB = \boxed{\text{キ}}$, $AC = \boxed{\text{ク}}$ である。

問4 不等式 $x^2 + y^2 - 2y - 4 \leq 0$ は中心の座標□, 半径□の円の内部と境界線の領域を表す。点(在り)がこの不等式を満たす領域を動くとき, $x - y$ の最大値は□となる。

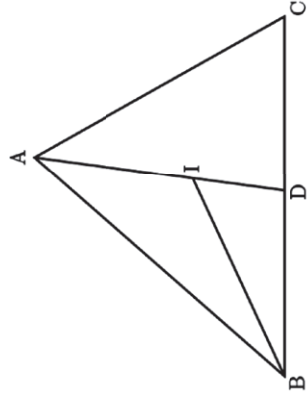
第2問(選択問題) 問A, 問Bいずれかを選択し, 次の□に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問A ある街に下の図のような道がある。このときA地点からB地点まで最短距離で行く道順は全部で□通りあり, A地点からC地点を通ってB地点まで最短距離で行く道順は全部で□通りある。また, A地点からD地点を通らずにB地点まで最短距離で行く道順は全部で□通りある。



問B $\triangle ABC$ において, 内心をIとし, 線分AIの延長と辺BCとの交点をDとする。 $AB = 8$, $BC = 7$, $CA = 6$ のとき, 線分BDの長さは□であり, 線分AIとIDの長さの比は $AI : ID = \boxed{\text{ス}}$ である。

また, $\triangle ABC$ の面積は $\triangle BDI$ の面積の□倍である。



第3問 (選択問題) 問C, 問Dいずれかを選択し, 次の に当てはまる数式または数値等を, 解答主紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問C $|\vec{a}| = 1, |\vec{b}| = 2$ で, $\vec{a} - 2\vec{b}$ と $3\vec{a} + \vec{b}$ が垂直であるとき, \vec{a}, \vec{b} の内積は ソ であり, \vec{a}, \vec{b} のなす角を θ ($0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$) とすると, $\theta =$ タ である。また, $|2\vec{a} - 3\vec{b}|$ の値は チ である。

問D 数列を次のように群に分け, 第 n 群には n 個の項が入るようにする。

$$\begin{array}{c|c|c|c|c} \frac{1}{1} & \frac{1}{2} & \frac{1}{2} & \frac{1}{3} & \frac{1}{3} & \frac{1}{4} & \frac{1}{4} & \frac{1}{4} & \frac{1}{4} & \dots \\ \hline \text{第1群} & \text{第2群} & \text{第3群} & \text{第4群} & & & & & & \end{array}$$

このとき, $\frac{4}{7}$ はこの数列の第 ソ 項である。また, 第60項は タ である。また, 第1群から第10群までの各項の和は チ である。

第4問 (必答問題) 次の問の解答を, 過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

- (1) 2次関数 $y = x^2 - 6x + 7$ のグラフを x 軸に関して対称移動した放物線をグラフとする2次関数を求めよ。
- (2) 2次関数 $y = x^2 - 6x + 7$ のグラフを x 軸方向に2だけ平行移動した放物線をグラフとする2次関数を求めよ。
- (3) (1)で求めた2次関数のグラフと(2)で求めた2次関数のグラフとで囲まれた図形の面積を求めよ。

数学

第1問, 第4問は必答問題である。第2問, 第3問はそれぞれについて1問を選択する問題である。(第1問~第3問の配点は80, 第4問の配点は20)

第1問 (必答問題) 次の各問の に当てはまる数式または数値等を, 解答主紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問1 次の式を計算せよ。

(1) $2\sqrt{18} + \frac{\sqrt{5}}{2} - \sqrt{50} =$ ア

(2) $-a^2b(-2ab^3)^3 =$ イ

(3) $-|-5| + |3 - 5| =$ ウ

(4) $\frac{x+4}{2x-2} \times \frac{x^2-4x+3}{x^2+x-12} =$ エ

問2 $\triangle ABC$ において, $BC = 2, AC = 3, AB = \sqrt{5}$ とするとき, $\sin C =$ オ, $\triangle ABC$ の面積は カ, $\triangle ABC$ の外接円の半径は キ である。

問3 実数 x, y が $x+y=1$ および $x \geq 0$ を満たすとき, $-x^2y^2 + x^2 + y^2 + xy$ が最大となるのは, $x =$ ク, $y =$ ケ のときであり, その値は コ である。
 $xy = t$ において考えなさい。

問4 関数 $y = \sin \theta + \cos \theta + 2 \sin \theta \cos \theta$ について, $t = \sin \theta + \cos \theta$ において, y を t を用いて表すと, $y =$ サ となる。また, 関数 y のとり得る値の範囲は シ $\leq y \leq$ ス となる

第2問 (選択問題) 問A, 問Bいずれかを選択し, 次の に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問A A, Bの2人が次のようなゲームをする。1個のサイコロを投げて, 3の倍数の目が出たらAが2点を得て, それ以外の目が出たらBが1点を得る。このゲームを繰り返して, 先に4点を得た方を優勝としてゲームを終了する。このとき, 3ゲーム目に優勝が決まる確率は であり, 5ゲーム目にBが優勝する確率は である。
また, このゲームを何回か行ってAが優勝する確率は である。

問B $\triangle ABC$ において, $AB=5$, $BC=4$, $CA=3$ とし, $\angle A$ の二等分線と辺BCとの交点をD, $\angle A$ の外角の二等分線と辺BCの延長との交点をEとする。このとき, 線分BD, CEの長さは $BD = \text{セ}$, $CE = \text{ソ}$ である。また, $\triangle ABC$ の内接円の半径は である。

第3問 (選択問題) 問C, 問Dいずれかを選択し, 次の に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問C $\triangle OAB$ において, $OA=2$, $OB=3$, $\angle AOB=60^\circ$ とし, 辺ABを2:1に内分する点をC, t を実数として辺OBをOD:DB = $t:(1-t)$ に内分する点をDとする。 $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$ とおくとき, \vec{a} , \vec{b} の内積は である。
また, t を実数として, \vec{AD} を \vec{a} , \vec{b} , t を用いて表すと $\vec{AD} = \text{ツ}$ である。
さらに, 線分OCと直線ADが垂直であるとき, t の値は $t = \text{テ}$ である。

問D 初項から第5項までの和が390, 初項から第13項までの和が806である等差数列の一般項を n を用いて表すと である。また, この数列の初項から第 n 項までの和は $n = \text{ツ}$ のときに最大となり, 最大値は である。

第4問 (必答問題) 次の問の解答を, 過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

- (1) 点A(2, -4)から曲線 $y = x^2 - x - 2$ へ引いた2本の接線の方程式を求めよ。
- (2) 曲線 $y = x^2 - x - 2$ と(1)で求めた2本の接線との接点の座標をそれぞれ求めよ。
- (3) 曲線 $y = x^2 - x - 2$ と(1)で求めた2本の接線によって囲まれた図形の面積を求めよ。

■ 第1問

- A (1) 3 (2) 1 (3) 4 (4) 5 (5) 2
 B (1) 2-3-1-4 (2) 1-4-3-2
 C (1) 4 (2) 2 (3) 2 (4) 3 (5) 1 (6) 4 (7) 4 (8) 3 (9) 2 (10) 1
 (11) 3 (12) 3 (13) 2 (14) 1 (15) 4 (16) 2
 D (1) 1 (2) 1

■ 第2問

- A (1) 2 (2) 4 (3) 3 (4) 6 (5) [1] 4 [2] 3 (6) [1] 3 [2] 1
 B (1) [1] 4 [2] 4 [3] 3
 (2) [4] 5 [5] 9 [6] 6 [7] 3
 (3) [8] 4 [9] 2
 (4) [10] 3 [11] 1 [12] 3
 (5) (解答例) 集団の圧力は、他の皆と同じことをさせようとするグループ内における強い影響力である。
 (6) (解答例) The news that has most impacted me recently is the assassination
 of the former Prime Minister of Japan.
 I was so surprised that such a thing could happen in our peaceful country.

■ 第1問

- A (1) 3 (2) 4 (3) 2 (4) 5 (5) 1
 B (1) 2-4-1-3 (2) 3-4-1-2
 C (1) 1 (2) 4 (3) 1 (4) 1 (5) 4 (6) 2 (7) 1 (8) 2 (9) 3 (10) 4
 (11) 1 (12) 4 (13) 2 (14) 3 (15) 3 (16) 4
 D (1) 3 (2) 1

■ 第2問

- A (1) 3 (2) 2 (3) 4 (4) 4 (5) [1] 3 [2] 4 (6) [1] 1 [2] 3
 B (1) [1] 4 [2] 1 [3] 3 (2) [4] 4 [5] 8 [6] 1 [7] 1 0
 (3) [8] 3 [9] 1
 (4) [10] 3 [11] 1 [12] 1
 (5) (解答例) 動いたり、必需品を保管したりする場所がないことは大きなストレスのもとであった。
 (6) (解答例) I prefer to live in a small house because it is easier to keep clean, and
 cheaper to keep warm in winter.
 I prefer to live in a large house because I like to stay at home a lot and I can
 move freely in a big house. Also, it is easy for friends and relatives to come
 and stay.

国語 総合型選抜入学試験[併願型] 解答

- 問1 ①創造 ②陳列 ③洗練 ※洗煉、洗鍊も可 ④しゅうえん ⑤ゆえん ⑥堪能 ⑦農耕 ⑧維持 ⑨融合 ⑩傾倒
- 問2 オ
- 問3 曲線や曲面
- 問4 ①オ ②千変万化 ③挙句
- 問5 装飾や芸術
- 問6 大自然のサイクルの中で人間と自然が調和しながら生き長らえていく生き方
- 問7 人間にと
これまで
- 問8 日本人にとって自然は客体ではなく主体であり、日本人は自然に対して限りない敬愛の念を抱いていること
- 問9 美の原点が自然にあり、人々が自然の中に心の安らぎや調和を見いだしていたこと
日本人が四季それぞれの豊かな自然の形や色から学んだ自然観に基づく美学
- 問10 柔らかな曲 感じさせる
- 問11 (3)

国語 一般選抜入学試験[前期・専願型] 解答

- 問1 I B 依拠 C 発露 E 媒体 G た H 都度 I くわだ II 細 III ②ウ ③オ ④ア
IV A エ D オ V F ア J イ
- 問2 オ
- 問3 個人の内面や個性は工芸品の未完成の部分や不完全な部分に表れるが、完璧な作品にはそういう部分はないため、個人の特徴は現れないということ。
- 問4 超越的な体験の表現は、他者から理解や評価を得ることが困難な場合が多いため、他者に受け入れられなくても十分な意味と理由があるという考え。
- 問5 ①関係性 ②排除 ③権力 ④文化的差別 ⑤恣意的 ⑥ヒエラルキー
- 問6 ウ
- 問7 イ
- 問8 設問Ⅰ エ 設問Ⅱ オ 設問Ⅲ ア

■ 第1問

問1 ア 0.13 イ $-\sqrt{2}$ ウ $-3a^5b^5$ エ $\frac{\sqrt{2}+\sqrt{6}}{2}$

問2 オ 14 カ -2

問3 キ $3\sqrt{2}$ ク $3\sqrt{3}-3$

問4 ケ $(0,1)$ コ $\sqrt{5}$ サ $-1+\sqrt{10}$

■ 第2問

問A シ 126 ス 60 セ 96

問B シ 4 ス 2:1 セ $\frac{21}{4}$

■ 第3問

問C ソ -1 タ 120° チ $2\sqrt{13}$

問D ソ 25 タ $\frac{5}{11}$ チ $\frac{65}{2}$

■ 第4問

(1) 元の2次関数 $y = f(x)$ に対して求める2次関数は

$$y = -f(x) \text{ となるから}$$

$$y = -x^2 + 6x - 7 \text{ ……①}$$

(2) 元の2次関数 $y = f(x)$ に対して求める2次関数は

$$y = f(x-2) \text{ となるから}$$

$$y = (x-2)^2 - 6(x-2) + 7$$

$$= x^2 - 10x + 23 \text{ ……②}$$

(3) ①のグラフと②のグラフの交点の x 座標を求める。

$$-x^2 + 6x - 7 = x^2 - 10x + 23$$

$$x^2 - 8x + 15 = 0$$

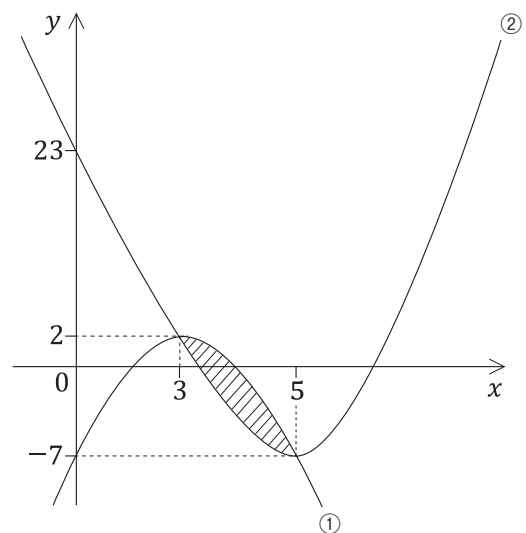
$$(x-3)(x-5) = 0 \quad \therefore x = 3, 5$$

$$= \int_3^5 \{(-x^2 + 6x - 7) - (x^2 - 10x + 23)\} dx$$

$$= \int_3^5 (-2x^2 + 16x - 30) dx$$

$$= \left[-\frac{2x^3}{3} + 8x^2 - 30x \right]_3^5$$

$$= \frac{8}{3}$$



■ 第1問

問1 ア $2\sqrt{2}$ イ $8a^5b^7$ ウ -3 エ $\frac{1}{2}$

問2 オ $\frac{\sqrt{5}}{3}$ カ $\sqrt{5}$ キ $\frac{3}{2}$

問3 ク $\frac{1+\sqrt{3}}{2}$ ケ $\frac{1-\sqrt{3}}{2}$ コ $\frac{5}{4}$

問4 サ t^2+t-1 シ $-\frac{5}{4}$ ス $1+\sqrt{2}$

■ 第2問

問A セ $\frac{4}{27}$ ソ $\frac{64}{243}$ タ $\frac{131}{243}$

問B セ $\frac{5}{2}$ ソ 6 タ 1

■ 第3問

問C チ 3 ツ $t\vec{b} - \vec{a}$ テ $\frac{10}{21}$

問D チ $90 - 4n$ ツ 22 テ 968

■ 第4問

(1) 接点を $(a, a^2 - a - 2)$ とおく。

$$y' = 2x - 1 \text{ より接線の傾きは } 2a - 1$$

よって接線の方程式は

$$y - (a^2 - a - 2) = (2a - 1)(x - a)$$

$$y = (2a - 1)x - a^2 - 2 \text{ ……①}$$

接線①は $(2, -4)$ を通るから

$$-4 = (2a - 1)2 - a^2 - 2$$

$$a(a - 4) = 0, \quad a = 0, 4$$

$$a = 0 \text{ のとき、接線の方程式は } y = -x - 2 \text{ ……②}$$

$$a = 4 \text{ のとき、接線の方程式は } y = 7x - 18 \text{ ……③}$$

(2) $f(a) = a^2 - a - 2$ とし

$$f(0) = -2$$

$$f(4) = 10$$

接線②と曲線との接点の座標は $(0, -2)$

接線③と曲線との接点の座標は $(4, 10)$

$$\begin{aligned}
 (3) \quad & \int_0^2 \{(x^2 - x - 2) - (-x - 2)\} dx + \int_2^4 \{(x^2 - x - 2) - (7x - 18)\} dx \\
 &= \int_0^2 x^2 dx + \int_2^4 (x^2 - 8x + 16) dx \\
 &= \left[\frac{x^3}{3} \right]_0^2 + \left[\frac{x^3}{3} - 4x^2 + 16x \right]_2^4 \\
 &= \frac{16}{3}
 \end{aligned}$$

オープンキャンパスに参加しよう！

2023年 7月29日(土)・30日(日)

合格者である在學生や教員と話ができる「相談コーナー」や、入試の対策講座、入試参考作品の展示など入試の準備としても、とても役立つイベントです。この機会をお見逃しなく！



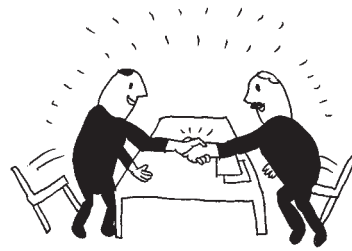
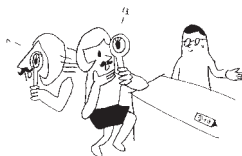
※実施内容は変更になる場合がありますので、必ず右のQRコードから大学HPをご覧ください。



進学相談会

開催場所や日程は大学HPをチェック！

進学相談会では相談コーナーのほか、さまざまな資料の配布を行います。また、美術系大学のための相談会場では入試参考作品の展示も行います。参加無料、事前申込みも不要です。保護者の方もぜひご来場ください。



@tuad と友だちになろう！

オープンキャンパスなどのイベント最新情報をはじめ、高校生・受験生の皆さんに役立つさまざまな情報をいち早くお届け！

LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン> [ID検索] をタップして、登録してください。

